

「鳥取市住民投票についての意識調査」調査報告書

調査実施者：塩沢 健一（日本学術振興会特別研究員）

スティーブン・R・リード（中央大学総合政策学部教授）

この調査は、2012年5月20日に鳥取市で行われた住民投票について、市の有権者計3000名（旧鳥取市および旧町村部の両地域から各1500名ずつ。全有権者の約2%）を対象として実施したものです。突然の調査票の送付にもかかわらず、調査の趣旨を理解していただき、お忙しい中ご回答くださった多くの市民の方々に心より感謝申し上げます。

- * 今回の調査は、純粹に學術目的で実施したものであり、鳥取市や他の行政機関などの委託等によって行ったものではない。
- * 集計された回答は、十分な客観性を有しており、研究面においては利用価値の高いものと言える。しかしながら、集計結果そのものについては統計学的な理由により、データに「ひずみ」が生じている場合もある。
- * また、今回の調査の回答率（39.9%）は、この種の調査としては十分満足いくものではあるが、実際の住民投票と異なり、全有権者のごく一部の方々のご意見をお伺いしたに過ぎない。加えて、本調査は旧鳥取市と旧町村部の両地域を並列的に比較することを主目的としているため、“現在の”市内各地域の人口比を反映したサンプル抽出を行っていない。以上の理由により、集計結果については「参考程度」ととどめ、くれぐれもご留意いただきたい。
- * 今回の調査は、平成24年度文部科学省科学研究費補助金（特別研究員奨励費）に基づき実施しています。
- * なお、この調査報告書について、ご質問や疑問に思う点などがありましたら、下記までご連絡ください。ただし、本書に掲載された内容以外についてのご質問には、お答えできかねますので、ご了承願います。（Eメールが利用可能な方は、よろしければEメールをご利用ください。）

〒192-0393 東京都八王子市東中野 742-1 中央大学総合政策学部 リード研究室

E-mail: chousa@tamacc.chuo-u.ac.jp（担当：塩沢）

リード研究室（中央大学） 042-674-4149（直通）

調査の概要

調査実施期間：2012年5月28日～7月22日

調査方法：郵送による調査（礼状兼督促状1回送付）

対象者総数：満20歳～79歳の有権者3000人

（旧鳥取市および旧町村部の両地域から各1500人ずつ）

対象者実数：2979人 [旧鳥取市：1486人 旧町村部：1493人]

（対象者総数から転居・不着などの調査不能者を引いた数）

抽出方法：層化抽出法（比例割当）。5月8～9日に鳥取市選挙管理委員会にて、所定の手続きを経て選挙人名簿を閲覧し、筆記による抽出作業を実施。

有効回答数：1189件 [旧鳥取市：558件 旧町村部：631件]

回答率：39.9%（有効回答数／対象者実数）

[旧鳥取市：37.6% 旧町村部：42.3%]

* 本調査の目的

全国的に進展した「平成の大合併」がピークを過ぎてから、10年近くが経とうとしている。各地において自治体の広域化が進んだ結果、市町村レベルにおける「民意」の形も様々に変化したと言える。その具体的な要因としては、例えば新自治体の首長選挙における中心部と周縁部などの地域間対立や、議会選挙においては、人口比の少ない地域に基盤を持つ候補者の当選が難しくなったことなどが挙げられる。すなわち有権者にとっては、選挙の際の判断基準が合併前とは異なるケースも多々あり、個別の政策を問う住民投票においても、その傾向はある程度まで同様であると予想される。

本調査の第一の目的として、「平成の大合併」により誕生した広域自治体における「民意」のあり方について、私が2010年に長野県佐久市の住民投票に関して実施した意識調査との比較も交えながら、検討を加えることとしたい。鳥取市の住民投票は、「平成の大合併」で誕生した自治体で行われたケースとしては佐久市に次いで全国で2例目であり、また鳥取市の合併パターンとしては、佐久市と同様に「中心市+周辺町村」という組み合わせで、旧鳥取市に人口規模の小さい8町村が編入されるという形式であった。これらの点に着目して、佐久市での調査と同様、本調査では旧鳥取市と旧町村部の両地域から調査対象者を半数ずつ抽出し、中心部と周縁部との比較が可能となるような形で調査を実施した。佐久市の住民投票で争点となったのは「総合文化会館」建設の是非であったが、市中心部における公共施設のあり方を問うという意味で、鳥取市の市庁舎整備問題も佐久市の事例と共通する部分があり、以上のような類似の要素を踏まえつつ、両市の住民投票における共通点や相違点を探ることとしたい。

他方、一般的に住民投票という直接民主主義的な政治手法は、間接民主制を補完する

役割を果たすものとして位置づけられている。すなわち、住民投票の結果を最大限尊重する中で、それをいかに間接民主制の政策決定プロセスにフィードバックできるかが重要となるが、我が国の地方自治制度では基本的に、（常設型の条例に基づくケースを除き）議会が住民投票条例を可決しない限り住民投票を実施することはできないため、どういう形で住民投票において争点提示を行うかという、最終的な「議題設定権」は議会が有していると言える。議題設定の仕方に曖昧な部分が残れば、多くの有権者は困惑したまま投票に臨むこととなり、投票結果の正統性にも疑義が生じ、また投票後の議論の過程においても課題の本質が見過ごされることとなりかねない。こうした観点から見て、今回、鳥取市の住民投票においてカギを握る存在となったのは議会である。

本調査の第二の目的は、議会が提示した2つの選択肢に対して有権者がどう反応し、何を判断基準としたのかを明らかにすることにより、複数の案から選択するタイプの住民投票の妥当性や、議会による議題設定のあり方について論じることにある。鳥取市では2011年8月の臨時議会で、市民からの直接請求により提出された条例案原案を否決した後、市が計画していた新築移転案の対案を盛り込む形で、耐震改修案との二者択一で昨年5月に住民投票が実施されたが、耐震改修案の内容に対する精査が不十分だったこともあり、投票に際しての情報提供のあり方に関して「不公平だ」などの指摘が一部で挙がることとなった。こうした一連の過程も踏まえたうえで、二元代表制下における住民投票の位置付けについて考慮するうえでの、一つのヒントを得ることを目指す。

最後に、私自身、これまで我が国で実施されてきた住民投票に関して、5件の郵送調査（広島県府中町、大阪府高石市、埼玉県蓮田市・白岡町・菖蒲町、山口県岩国市、長野県佐久市）を行ってきた。住民投票の争点は、最初の3件は市町村合併、岩国市が米軍基地をめぐる問題、佐久市が文化施設の建設の是非であったが、これらの調査においては事例間の比較が可能となるよう、同一内容の設問を数問、毎回用意してきた。

本調査における第三の目的として、住民投票の際に参考にした情報源や、日頃の行政に対する評価、政党支持などの要因が有権者の投票行動に及ぼす影響について横断的に分析し、我が国の住民投票におけるより一般的な傾向や、事例間の相違点などについて、実証的に明らかにしたい。

以上の目的に合致する事例であることから、今回の調査では、鳥取市を調査地として選定した。

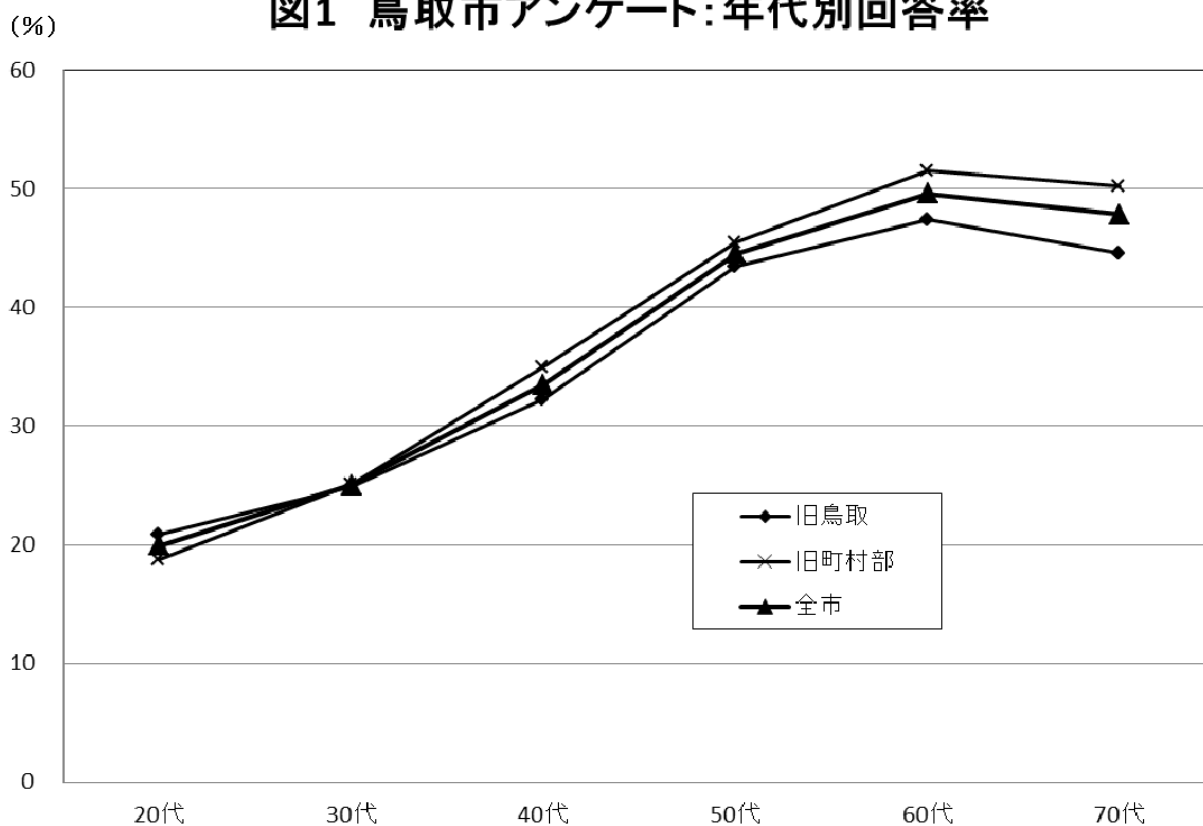
なお、本調査は投票実施の直後に行ったため、回答内容はあくまでも、住民投票直後の時点における有権者の意識や考え方などを反映したものとなっている。住民投票で選ばれた耐震改修案については、議会に設けられた調査特別委員会で専門業者による検証が行われた結果、当初案では実現不可能との結論が出され、新築移転の対案として耐震改修案を提示した議会の説明責任が問われる状況となっている。だが、同委員会による検証結果がまとまったのは、本調査が終了してから数か月後のことであるため、そうした状況に至る以前の市民の考え方をまとめたものとして、本報告書をご覧いただきたい。

ア. 年代別の回答状況

郵送調査の場合、若い人ほど調査そのものへの関心度は一般的に低いため、若い人の回答率は低くなってしまふのが普通である（「社会調査へのアプローチ[大谷信介編著]」などを参照）。そのため、各設問の集計結果を見る前に、年代別の回答状況について説明しておきたい。

- * 年代ごとに回答率を見ると、私が過去に実施した調査や一般的な傾向とも合致する形で、やはり年齢層が低くなるほど回答率も伸び悩む結果となった（図1参照）。したがって、各年代の回答者数の割合に関しては、どの年代でも、旧鳥取市および旧町村部における実際の人口構成比とは、やや乖離していると思われる。男女別で見ても、女性の回答がやや多かったため、やはり同様に乖離が見られる。これらのことから、今回の調査結果の解釈には、一定の限界があることを述べておかねばならない。ただ、本調査の主目的である、旧市と旧町村部との比較という観点においては、統計学的な分析を行う上で必要十分な調査資料が得られたことも、併せて付記しておく。

図1 鳥取市アンケート:年代別回答率



イ. 各有権者の属性

調査票の設問順とは前後するが、本報告書では最初に、年齢・性別など各有権者の社会的属性についての集計結果を示し、Q1について若干の説明を加えておく。

Q1		あなたが住まいの地域は、中学校区で言うと、次の中のどちらの校区になりますか。該当区域が分からない場合は、住まいの町名をご記入ください。	
		【旧鳥取市】	%
1	東中	61	10.9
2	西中	55	9.9
3	南中	71	12.7
4	北中	64	11.5
5	江山中	18	3.2
6	高草中	46	8.2
7	湖東中	95	17.0
8	湖南学園中	10	1.8
9	桜ヶ丘中	77	13.8
10	中ノ郷中	35	6.3
11	該当区域が分からない(町名未記入)	3	0.5
99	無回答・不明	23	4.1
	合計	558	100.0

Q1		あなたが住まいの地域は、次の中のどちらですか。	
		【旧町村部】	%
1	国府町	104	16.5
2	福部町	37	5.9
3	河原町	104	16.5
4	用瀬町	62	9.8
5	佐治町	31	4.9
6	気高町	119	18.9
7	鹿野町	60	9.5
8	青谷町	105	16.6
99	無回答・不明	9	1.4
	合計	631	100.0

居住地域については、現本庁舎や新築移転案における建設予定地からの距離や、市内各地の地域特性などを考慮に入れて分析を行うことを想定して尋ねたものである。旧町村部においては、旧自治体単位で居住地域を質問することが可能であったが、旧鳥取市内に関しては、行政区単位などで地域分けをすると煩雑になるため、本庁舎や建設予定地からの大よその距離を測る代替的な指標として「中学校区」を尋ねることとした。

なお、旧町村部における各町の回答者の比は、実際の人口比と概ね一致する割合となっている。また、旧市で「該当区域が分からない」を選択した人については、記入された町名をもとに中学校区を判定し入力した。

Q2		あなたのお年は住民投票の投票日(5月20日)の時点で、満でおいくつですか。	
		【旧鳥取市】	
			%
	20代	43	7.7
	30代	66	11.8
	40代	83	14.9
	50代	119	21.3
	60代	137	24.6
	70歳以上	87	15.6
	無回答	23	4.1
	合計	558	100.0
		【旧町村部】	
			%
	20代	30	4.8
	30代	50	7.9
	40代	69	10.9
	50代	152	24.1
	60代	173	27.4
	70歳以上	134	21.2
	無回答	23	3.6
	合計	631	100.0
		また性別は、どちらですか。	
		【旧鳥取市】	
			%
1	男性	251	45.0
2	女性	284	50.9
99	無回答	23	4.1
	合計	558	100.0
		【旧町村部】	
			%
1	男性	282	44.7
2	女性	322	51.0
99	無回答	27	4.3
	合計	631	100.0

Q3		あなたは鳥取市にお住まいになって、旧・鳥取市の頃から数えて何年くらいになりますか。(平成16年11月1日の合併後に旧町村部から転居した方は、合併後の「鳥取市民」になってからの年数をお答えください。)	
		【旧鳥取市】	%
1	4年未満	24	4.3
2	4年以上	41	7.3
3	12年以上	51	9.1
4	20年以上	423	75.8
99	無回答	19	3.4
	合計	558	100.0

Q3		あなたは平成16年の合併前から数えて、Q1で答えた地域にお住まいになって何年くらいになりますか。(合併後に、Q1で答えた地域以外の鳥取市内から転居した方は、合併後の「鳥取市民」になってからの年数をお答えください。)	
		【旧町村部】	%
1	4年未満	18	2.9
2	4年以上	83	13.2
3	12年以上	50	7.9
4	20年以上	456	72.3
99	無回答	24	3.8
	合計	631	100.0

Q4		あなたのご職業は何ですか。	
		【旧鳥取市】	%
1	農林漁業	18	3.2
2	自営業	38	6.8
3	公務員	43	7.7
4	専門職	28	5.0
5	会社員(管理職)	26	4.7
6	会社員(一般職員)	99	17.7
7	専業主婦	87	15.6
8	パート勤務	50	9.0
9	学生	14	2.5
10	無職	121	21.7
11	その他	13	2.3
99	無回答	21	3.8
	合計	558	100.0

		【旧町村部】	%
1	農林漁業	80	12.7
2	自営業	50	7.9
3	公務員	35	5.5
4	専門職	33	5.2
5	会社員(管理職)	26	4.1
6	会社員(一般職員)	108	17.1
7	専業主婦	71	11.3
8	パート勤務	64	10.1
9	学生	5	0.8
10	無職	124	19.7
11	その他	17	2.7
99	無回答	18	2.9
	合計	631	100.0

また勤務地は、どちらですか。

【旧鳥取市】			%
1	鳥取市内	288	51.6
2	県内の他市町	11	2.0
3	その他	13	2.3
	非該当	227	40.7
99	無回答	19	3.4
	合計	558	100.0

【旧町村部】			%
1	鳥取市内	347	55.0
2	県内の他市町	44	7.0
3	その他	10	1.6
	非該当	215	34.1
99	無回答	15	2.4
	合計	631	100.0

Q5 あなたの最終学歴をおしえてください。(在学中・中退は卒業とします)

【旧鳥取市】			%
1	中学卒(旧制小学・高等小学卒)	44	7.9
2	高校卒(旧制中学卒)	260	46.6
3	高専・短大・専修学校卒	83	14.9
4	大学・大学院卒	152	27.2
99	無回答	19	3.4
	合計	558	100.0

【旧町村部】			%
1	中学卒(旧制小学・高等小学卒)	81	12.8
2	高校卒(旧制中学卒)	305	48.3
3	高専・短大・専修学校卒	100	15.8
4	大学・大学院卒	123	19.5
99	無回答	22	3.5
	合計	631	100.0

ウ. 有権者の投票行動

問1 あなたは5月20日に行われた鳥取市庁舎整備に関する住民投票で投票しましたか。一つ選んで○を付けてください。

【旧鳥取市】			％
1	投票した(期日前・不在者投票を含む)	430	77.1
2	投票しなかった	121	21.7
99	無回答	7	1.3
	合計	558	100.0

【旧町村部】			％
1	投票した(期日前・不在者投票を含む)	497	78.8
2	投票しなかった	127	20.1
99	無回答	7	1.1
	合計	631	100.0

問2 問1で「1. 投票した」と答えた方にお聞きします。住民投票では、どちらの選択肢に投票しましたか。さしつかえなければ、一つ選んで○を付けてください。

【旧鳥取市】			％
1	旧市立病院跡地への新築移転に賛成	165	29.6
2	現本庁舎の耐震改修及び一部増築に賛成	263	47.1
	非該当	128	22.9
99	無回答	2	0.4
	合計	558	100.0

【旧町村部】			％
1	旧市立病院跡地への新築移転に賛成	205	32.5
2	現本庁舎の耐震改修及び一部増築に賛成	288	45.6
	非該当	134	21.2
99	無回答	4	0.6
	合計	631	100.0

投票参加に関して

- ・ 実際の投票率に比べると、投票に行った人の割合は旧鳥取市、旧町村部ともに30ポイント余り高くなっている。この種の調査では、元々関心の低い方から回答を得るのは簡単なことではない。元々、実際の投票率との乖離が本調査ではやや大きいため、この調査データをもとに投票参加および棄権の要因について分析を行うことは、やや難しい面もある。
- ・ 地域別(投票区別)投票率に関しては、市のwebサイトでも公開されているが(参照:<http://www.city.tottori.lg.jp/www/contents/1337574753288/index.html>)、実際の住民投票でも、投票率に関して著しい地域差は見られず、本調査においても目立った差は見られない。また、年代別で見ると、通常の選挙で広く見られる

のと同様に、若い人ほど「投票した」という割合は低く、概ね年齢とともにその割合は上昇する。

両案に対する投票行動に関して

- ・ 実際の住民投票においては耐震改修案に賛成する票が有効投票の約6割を占めたが、本調査でも旧鳥取市、旧町村部ともに、投票先を答えた人の6割前後が耐震改修案を選択しており、この点においては、偏りの少ない有益な調査データが得られたと考えられる。旧市で61.4%、旧町村部で58.4%と、その割合の差は3ポイントにとどまり、両地域間の比較においては、2つの案に対する意見分布に目立った差は見られない。
(なお佐久市の調査では、「総合文化会館」建設に賛成の割合が、旧町村部では2割弱、旧佐久市では約3割となっており、若干の地域差が見られた。)
- ・ ただし、地区別のデータに着目すると、旧町村部では新築移転に賛成した人の割合が、最も高い国府と青谷の両地区で約50%に達するのに対し、最も低い気高、鹿野の両地区では25%台となっており、旧町村単位で見ると比較的開きが大きい。この点については、各地区に特有の何らかの要因が影響している可能性が考えられる一方、棄権者を含めても回答数が計60件と少ない鹿野町に関しては、新築移転を選択した人の回答がたまたま少なかった、という可能性も排除できないため、今後さらに検証を試みたい。他方で、旧鳥取市においては、中学校区別で見ても旧町村部ほどの顕著な差異は見られない。
- ・ 年代別の傾向については、とりわけ20代において回答数が少ないため、20代については参考値として紹介するが、旧鳥取市では20代、30代、50代で新築移転案に賛成の割合が40%を超える一方、耐震改修案に賛成した人の割合は40代、60代、70代でいずれも65%前後に上っている。また旧町村部では、30代と70代で新築移転案に賛成の割合が50%前後に上り、20代と40～60代ではいずれも、耐震改修案に賛成した人の割合が6割を超えている。両地域ともに、年齢と投票行動との間に明確な相関は見られない。

エ. 両案への投票理由

また、その選択肢に投票した理由も具体的にお聞かせください。 ※自由回答形式		
【旧鳥取市／新築移転案】		
		%
長い目で見ていずれ新築が必要だから	54	32.7
耐震改修案に疑問を感じたから	39	23.6
分庁舎を集約するのが合理的	28	17.0
現本庁舎は古くて不便だから	20	12.1
地域や経済の活性化につながる	18	10.9
立地や交通の便が良いから	16	9.7
合併特例債を活用できるから	11	6.7
防災拠点としての機能を考えて	5	3.0
その他	15	9.1
無回答	32	19.4
合計	165	100.0
【旧町村部／新築移転案】		
		%
長い目で見ていずれ新築が必要だから	59	28.8
耐震改修案に疑問を感じたから	48	23.4
分庁舎を集約するのが合理的	25	12.2
立地や交通の便が良いから	24	11.7
合併特例債を活用できるから	20	9.8
地域や経済の活性化につながる	19	9.3
現本庁舎は古くて不便だから	14	6.8
防災拠点としての機能を考えて	7	3.4
その他	19	9.3
無回答	49	23.9
合計	205	100.0
【旧鳥取市／耐震改修案】		
		%
新築移転は税金の無駄づかいになるから	108	41.1
新築移転案の計画内容や進め方に不満を感じたから	45	17.1
耐震改修案のほうが費用が安い	38	14.4
現状では新築の必要性を感じない	30	11.4
他に優先すべき課題があるから	26	9.9
本庁舎は現在地が良いから	20	7.6
県庁や他の公共施設も耐震改修だったから	17	6.5
東日本大震災の復興に財源を回すべき	6	2.3
その他	8	3.0
無回答	49	18.6
合計	263	100.0
【旧町村部／耐震改修案】		
		%
新築移転は税金の無駄づかいになるから	94	32.6
現状では新築の必要性を感じない	49	17.0
耐震改修案のほうが費用が安い	46	16.0
他に優先すべき課題があるから	41	14.2
新築移転案の計画内容や進め方に不満を感じたから	29	10.1
本庁舎を利用する機会がないから	14	4.9
本庁舎は現在地が良いから	7	2.4
その他	15	5.2
無回答	70	24.3
合計	288	100.0

投票理由の集計結果は、自由回答形式で回答者に記入していただいた内容をもとに、いくつかのカテゴリに分類してまとめたものである。複数の項目に言及した記述内容についても全て、該当するカテゴリに含めているため、パーセント表示の合計は100を超える値となる。

まず、新築移転案、耐震改修案のいずれを選択した人にも共通して見られるのは、「次世代に負担をかけたくない」などのような記述に象徴される、長期的な視点に立った考え方である。新築移転案に投票した理由としては、いずれの地域でも「長い目で見ていずれ新築が必要だから」が最も多く、“長い目で見て”“将来的に考えて”いずれ新築する時が来るから、それならば今の世代が負担すべきだという考え方がある。他方、耐震改修案を支持した理由としては、新築移転した場合の財政負担について懸念する回答が両地域ともに最多であり、“税金の無駄づかい”といった表現に代表されるように、新築移転で大金を費やして子や孫の代に借金を残したくない、という考え方が見られた。どちらの案を支持した人であれ、一言で言えば「賢いお金の使い方をしてほしい」というのが、多くの有権者に共通する思いであると考えられる。

ただ、「税金の無駄づかい」という回答は同時に、各有権者の漠然とした不安感やイメージ、固定観念などに基づく投票行動と捉えることもできる。もう一つの共通点として、いずれの案を支持した人でも、もう一方の案に対する疑問や不信感を述べた回答や、やや具体性に欠ける回答が散見されたことが挙げられる。新築移転案への投票者であれば、耐震改修案について「20億で出来るとは思えない」「増改築の繰り返しになるだけ」などの疑問があり（＝集計表の「耐震改修案に疑問を感じたから」）、「現本庁舎は古過ぎる。不便だ。」といった意見も見られた。逆に耐震改修案に投票した人では、新築移転後の現本庁舎の跡地利用の問題や、駅南庁舎取得の経緯などに触れたうえで、新築移転案は計画性がない、新築ありきで進められたことが不満、などの意見があるほか、「現状では新築の必要性を感じない」という具体的な根拠を伴わない回答も目立った。

また、耐震改修案に投票した人では、財政負担に対する言及が特に多かったため、それが新築移転案の金額に対する否定なのか、2つの案を比較検討したうえでより安価な案を選択したのかを記述内容から判別し、前者を「新築移転は税金の無駄づかいになるから」に、後者を「耐震改修案のほうが費用が安い」に含め、両者を重複してカウントしないよう集計を行った。この両者を比較すると、「税金の無駄づかい」が「費用が安い」と比べて旧市で約3倍、旧町村部でも約2倍に上ることが分かる。もちろん、両方のニュアンスを読み取れる回答も数件程度はあるのだが、全体的に見れば、耐震改修案が多くを支持を集めたのは、新築移転案との相対比較で選ばれたというよりは、「新築移転案に対する否定」という意味合いが比較的強かったことが背景にあると解釈できる。

このほか、旧町村部における耐震改修案支持の理由として、「本庁舎を利用する機会がない」との回答も14件あったほか、「他に優先すべき課題があるから」という回答の中には、各総合支所の充実を望むという意見も含まれる。投票理由の記述からは、旧市と旧町村部における庁舎問題の捉え方の違いをこうした点に垣間見ることができる。

オ. 住民投票における棄権の理由

問3 問1で「2. 投票しなかった」と答えた方にお聞きします。あなたが投票しなかったのは、どのような理由からですか。次の中から、あてはまるもの全てに○を付けてください。

【旧鳥取市】			％
用事・仕事があったから	53		43.8
健康上の理由から	12		9.9
投票に行くのが面倒だったから	16		13.2
市庁舎整備をめぐる問題に関心がなかったから	18		14.9
どちらに投票したらよいか判断に迷ったから	28		23.1
自分一人が投票してもしなくても同じだから	10		8.3
住民投票の実施に疑問・不満を感じていたから	14		11.6
投票日を忘れていたから	6		5.0
その他	10		8.3
無回答	1		0.8
合計	121		100.0

【旧町村部】			％
用事・仕事があったから	49		38.6
健康上の理由から	17		13.4
投票に行くのが面倒だったから	16		12.6
市庁舎整備をめぐる問題に関心がなかったから	21		16.5
どちらに投票したらよいか判断に迷ったから	24		18.9
自分一人が投票してもしなくても同じだから	9		7.1
住民投票の実施に疑問・不満を感じていたから	22		17.3
投票日を忘れていたから	9		7.1
その他	9		7.1
無回答	1		0.8
合計	127		100.0

投票しなかった理由に関しては、いずれの地域においても「用事・仕事があったから」との回答が最も多いが、「投票に行くのが面倒だったから」「市庁舎整備をめぐる問題に関心がなかったから」といった無関心による棄権に加え、「どちらに投票したらよいか判断に迷ったから」とする回答も棄権した人の2割前後に上っている（佐久市の調査においても、概ね同様の回答傾向であった。）。公共施設を建設・整備するうえでは、建物の耐用年数の問題や、関連費用をどこまで勘案するかなど、複雑で専門的な判断が求められる側面もあり、そうした点が一般市民にとっては判断の難しい部分でもあったと思われる。

実際、鳥取市の住民投票を棄権した有権者には、「住民投票の実施に疑問・不満を感じていた」人も含まれており、庁舎問題は議会で決定すべき事柄であるとする市民も少なからずいたと言える。市の情報提供のあり方や、投票実施に至るまでのプロセスなどが、市民にとってもう少し理解しやすいものであったなら、実際の投票率以上に有権者の関心を喚起することも可能であったと考えられる。

カ. 住民投票に対する評価、説明会などへの参加

問4 今回、市庁舎整備をめぐる問題について鳥取市が住民投票を実施したことは、良かったと思いますか。

		【旧鳥取市】	%
1	良かった	369	66.1
2	良くなかった	68	12.2
3	どちらともいえない	115	20.6
99	無回答	6	1.1
	合計	558	100.0

		【旧町村部】	%
1	良かった	385	61.0
2	良くなかった	81	12.8
3	どちらともいえない	159	25.2
99	無回答	6	1.0
	合計	631	100.0

問5 鳥取市では昨年、市庁舎整備に関する市民向けの説明会や懇談会が数多く開催されたほか、昨年2月には、市庁舎整備に関するフォーラムも行われました。あなたは、これらの説明会に一度でも参加したことがありますか。

		【旧鳥取市】	%
1	参加したことがある	74	13.3
2	参加したことはない	480	86.0
99	無回答	4	0.7
	合計	558	100.0

		【旧町村部】	%
1	参加したことがある	86	13.6
2	参加したことはない	542	85.9
99	無回答	3	0.5
	合計	631	100.0

市庁舎整備をめぐる問題について住民投票が実施されたことへの評価を尋ねた問4では、「良かった」と答えた人が旧鳥取市で約66%、旧町村部で61%に上る。佐久市の調査で旧市・旧町村部ともに「良かった」が7割前後に達したのと比べると、若干低い数字ではあるが、住民投票の実施については多くの鳥取市民が評価していると言える。ただ、この数字はあくまでも、本調査を実施した投票直後の時点での市民の評価を表したものであり、「耐震改修案は実現不可能」との検証結果が示されたことを踏まえたうえで同様の質問をすれば、居住地域に関わらず意見分布は大きく変わる可能性も考えられる。

投票行動との間でクロスデータを取ると、耐震改修案に投票した人は85%程度が「良かった」と回答している一方、新築移転案に投票した人に関しては、今回の住民投

票に対する評価は「良かった」「良くなかった」「どちらともいえない」に概ね三分される。つまり、新築移転案を選択した有権者に限ると、本調査を行った投票直後の時点で、住民投票の実施について肯定的に捉えていたのは3分の1強にとどまっており、投票の結果少数派となった新築移転案の支持者にとっては、やはり評価の難しい住民投票であったと言えそうである。

続いて、鳥取市の市庁舎整備をめぐっては投票前年の2011年を中心に、多くの説明会や懇談会などが行われ、例えば市庁舎整備に関する地域説明会は、同年1月22日から30日、5月15日から22日、10月18日および22日に市内各地で開催された。ただ問5にあるように、これらの説明会に一度でも参加したことがあると答えた人は、回答者全体の1割強にとどまる。説明会に参加した人の約9割は住民投票で投票したと答えており、有権者全体の中でも特に関心の高かった人々であると捉えることができる。住民投票の直前には市や議会の開催による説明会は行われなかったが、投票実施が決まることで市民の関心が喚起される側面も多分にあり、住民投票に際して改めて説明会の開催を求める市民も潜在的に一定程度いたと思われる。

キ. 市庁舎整備をめぐる問題の重要度

問6 市庁舎整備をめぐる問題は、市政全体の中での検討課題として、どの程度重要だとお考えですか。この中から一つ選んで○を付けてください。

【旧鳥取市】			％
1	かなり重要である	178	31.9
2	ある程度重要である	229	41.0
3	どちらともいえない	60	10.8
4	あまり重要ではない	68	12.2
5	全く重要ではない	17	3.0
99	無回答	6	1.1
	合計	558	100.0

【旧町村部】			％
1	かなり重要である	185	29.3
2	ある程度重要である	256	40.6
3	どちらともいえない	78	12.4
4	あまり重要ではない	80	12.7
5	全く重要ではない	23	3.6
99	無回答	9	1.4
	合計	631	100.0

本報告書の冒頭でも述べたように、一般的に住民投票には、間接民主制を「補完」する役割が期待されている。すなわち、我が国の地方自治においては、二元代表制が機能不全に陥った際のいわば「最後の手段」として、重要課題に対する判断を直接住民にゆだねることが想定される。ただ、その場合に、政策決定に対し直接意思表示することになる住民自身が、争点となる政策課題の重要性をどのように認識しているかによって、住民投票の持つ意味も変わってくる可能性がある。そこで問6では、住民自身が市庁舎整備をめぐる問題について、市政全体の中での検討課題としてどの程度重要だと考えているかを尋ねている。

「かなり重要」と「ある程度重要」の合計で見ると、旧鳥取市で約73%、旧町村部でも約70%が重要であると考えており、市政全体の中で市庁舎整備をめぐる問題は、市民の間でも重要な問題として認識されていると言える。ただ旧市、旧町村部ともに、重要度の認識と投票行動との間に何らかの明確な傾向を読み取ることはできない。

ク. 市庁舎を訪れた回数

問7 あなたは、この一年間にどの程度、次の各庁舎に行きましたか。市役所本庁舎、駅南庁舎、各総合支所(旧町村役場)について、それぞれ一つずつ選んで○を付けてください。

・市役所本庁舎について

		【旧鳥取市】	%
1	月に1回以上	27	4.8
2	二～三ヶ月に1回程度	53	9.5
3	半年に1回程度	101	18.1
4	一年に1回程度	127	22.8
5	一年以上行っていない	233	41.8
99	無回答	17	3.0
	合計	558	100.0

		【旧町村部】	%
1	月に1回以上	21	3.3
2	二～三ヶ月に1回程度	46	7.3
3	半年に1回程度	62	9.8
4	一年に1回程度	92	14.6
5	一年以上行っていない	401	63.5
99	無回答	9	1.4
	合計	631	100.0

・駅南庁舎について

		【旧鳥取市】	%
1	月に1回以上	38	6.8
2	二～三ヶ月に1回程度	100	17.9
3	半年に1回程度	153	27.4
4	一年に1回程度	135	24.2
5	一年以上行っていない	125	22.4
99	無回答	7	1.3
	合計	558	100.0

		【旧町村部】	%
1	月に1回以上	28	4.4
2	二～三ヶ月に1回程度	50	7.9
3	半年に1回程度	85	13.5
4	一年に1回程度	102	16.2
5	一年以上行っていない	357	56.6
99	無回答	9	1.4
	合計	631	100.0

・各総合支所(旧町村役場)について

		【旧鳥取市】	%
1	月に1回以上	6	1.1
2	二～三ヶ月に1回程度	3	0.5
3	半年に1回程度	15	2.7
4	一年に1回程度	26	4.7
5	一年以上行っていない	503	90.1
99	無回答	5	0.9
	合計	558	100.0

		【旧町村部】	%
1	月に1回以上	82	13.0
2	二～三ヶ月に1回程度	138	21.9
3	半年に1回程度	151	23.9
4	一年に1回程度	128	20.3
5	一年以上行っていない	124	19.7
99	無回答	8	1.3
	合計	631	100.0

問7では、各回答者が調査時点までの一年間に、市役所本庁舎、駅南庁舎、各総合支所(旧町村役場)をどの程度訪ねているのかを質問した。この設問では、居住地域によっては行く機会がない庁舎もあると思われる。そのため、旧市の回答者については、本庁舎と駅南庁舎の訪問頻度を答えたとうえで各総合支所(旧町村役場)を無回答とした場合、旧町村部の回答者については、各総合支所(旧町村役場)の訪問頻度のみを答えたとうえで本庁舎と駅南庁舎を無回答とした場合、無回答部分については行く機会がないものと見なして、それぞれ「一年以上行っていない」として処理した。

それを踏まえ、各庁舎間の回答状況の比較で見えていくと、旧鳥取市内の回答者では、全体的に見て駅南庁舎に訪問する頻度が最も高いと言える。駅南庁舎の場合は、市の窓口等への用事だけでなく、同じ建物に入居する図書館やフィットネスクラブに通うケースも含まれると思われるが、「一年以上行っていない」は2割強にとどまっており、市民にとっての利便性の高さがうかがえる数字である。築50年近くが経ち、旧市内の住民にとっては馴染みが深いと思われる本庁舎については、「一年以上行っていない」は4割を超えている。一方、旧町村部の回答者について見てみると、やはり合併前まで町村役場として利用されていた各総合支所へ行く機会がかなり多く、本庁舎や駅南庁舎に「一年以上行っていない」人は概ね6割前後に上る。

旧市であれ旧町村部であれ、投票参加の割合は本庁舎への訪問頻度に概ね比例して高まり、棄権の割合が最も高くなるのは「一年以上行っていない」人で、両地域ともに25%程度に達する。本調査では棄権者の回答が少ないため、実際に住民投票を棄権した人の中には、本庁舎へ行く機会のない人はさらに多いと推測される。既述の投票理由に関する集計結果とも併せて考慮すると、市庁舎の利便性という観点から今回の住民投票における投票行動を決定した有権者は、一部にとどまるものと考えられる。同時に、本庁舎に足を運ぶ機会すらない多くの市民に対しても、庁舎整備に関して多様な視点から判断を求めること自体に、今回の住民投票が抱えた限界を見出すこともできる。

ケ. 直接請求での署名の有無、市議会の取り組みに対する評価

問8 鳥取市では昨年、市庁舎整備に関する住民投票の実施を求める直接請求が行われ、7月2日までの一ヶ月間、市内各地で署名活動が行われました。あなたはこのとき、署名をしましたか。一つ選んで○を付けてください。

【旧鳥取市】			%
1	署名をした	226	40.5
2	署名をしなかった	303	54.3
3	当時、有権者ではなかった	1	0.2
4	覚えていない	14	2.5
5	答えたくない	8	1.4
99	無回答	6	1.1
	合計	558	100.0

【旧町村部】			%
1	署名をした	192	30.4
2	署名をしなかった	370	58.6
3	当時、有権者ではなかった	5	0.8
4	覚えていない	44	7.0
5	答えたくない	10	1.6
99	無回答	10	1.6
	合計	631	100.0

問9 上記の直接請求による住民投票条例案の否決後、鳥取市議会では住民投票条例に関する検討会が設置され、市が計画してきた新築移転案の対案を盛り込む形で条例案が修正され、可決されました。あなたは、この間の市議会の取り組みをどのように評価しますか。一つ選んで○を付けてください。

【旧鳥取市】			%
1	大いに評価できる	71	12.7
2	ある程度評価できる	208	37.3
3	どちらともいえない	130	23.3
4	あまり評価できない	84	15.1
5	全く評価できない	50	9.0
99	無回答	15	2.7
	合計	558	100.0

【旧町村部】			%
1	大いに評価できる	72	11.4
2	ある程度評価できる	220	34.9
3	どちらともいえない	162	25.7
4	あまり評価できない	100	15.8
5	全く評価できない	59	9.4
99	無回答	18	2.9
	合計	631	100.0

住民投票前年の2011年6月から7月にかけて、市庁舎整備に関する住民投票の実施を求めて、市内各地で市民団体による署名活動が行われ、市の有権者の3分の1近い約5万人分の署名をもとに直接請求が行われた。8月の臨時市議会では、直接請求に基づく住民投票条例案は否決されたものの、その後市議会では条例案に関する検討会が設置され、新築移転案の対案として「耐震改修案」を選択肢に加える形で、2012年3月の市議会において条例案は修正可決された。この結果、5月に住民投票が実施される運びとなったわけだが、問8と問9では、直接請求運動が行われた際に署名したかどうか、条例案原案が否決された後の市議会による取り組みをどう評価するかについて、それぞれ尋ねている。

署名の有無を尋ねた問8では、旧市と旧町村部の比較において、若干の地域差のあることが読み取れる。署名をしたと答えた人の割合は、旧市内で約4割であるのに対し、旧町村部で約3割と、1割程度の開きがある。やはり署名活動を行う上では、市民がより多く集まる中心部での活動が多くなるものであり、旧町村部に住む市民にとっては、署名を行う機会がなかった人も少なくなかったと思われる。また、投票行動との関連においては、直接請求の際に署名した人は、旧市・旧町村部ともに住民投票では8割前後が耐震改修案に投票したと回答しており、署名活動に応じた時点からの新築移転案に対する反発が、住民投票の段階でも維持されていたと捉えることができる。

続く問9を見ると、条例案の修正可決に至るまでの市議会の取り組みについて、概ね評価する向きが強いと言える。ただし注意が必要なのは、本調査が住民投票直後の5月から7月にかけて実施されたという点であり、「耐震改修案は実現不可能」との検証結果が示され、議会としての説明責任が問われる事態となったことを受けて改めて同様の質問をした場合には、住民投票の実施に対する評価を尋ねた問4でも述べたように、全く異なる結果が出ることも予想される。

コ. 情報源への接触

問10 投票をどうしようか考える際に参考にしたものについてお尋ねします。

[1] 投票日までに、今回の住民投票に関して、あなたが見たり、聞いたりしたものがこの中にありましたら、あてはまるもの全てに○を付けてください。

		【旧鳥取市】	
			%
	市の広報や配布資料	379	67.9
	市が設置した掲示板	63	11.3
	各派のチラシ	247	44.3
	テレビ	214	38.4
	新聞	276	49.5
	街頭演説	163	29.2
	インターネット	22	3.9
	近所の住人との会話	156	28.0
	説明会や集会	57	10.2
	この中のどれも見聞きしない	35	6.3
	その他	38	6.8
99	無回答	5	0.9
	合計	558	100.0

		【旧町村部】	
			%
	市の広報や配布資料	406	64.3
	市が設置した掲示板	80	12.7
	各派のチラシ	279	44.2
	テレビ	229	36.3
	新聞	261	41.4
	街頭演説	143	22.7
	インターネット	18	2.9
	近所の住人との会話	175	27.7
	説明会や集会	68	10.8
	この中のどれも見聞きしない	25	4.0
	その他	19	3.0
99	無回答	9	1.4
	合計	631	100.0

参考にした情報源に関する一連の設問は、市町村合併や基地問題、公共施設の建設をめぐる住民投票に関して、私が過去に実施した5件の調査とほぼ同一の選択肢を設け、事例間の比較が可能となるようにしたものである。

まず[1]を見ると、旧鳥取市および旧町村部いずれにおいても、市の広報や配布資料に目を通した人が65%前後いることが分かる。この数字は、佐久市の調査と比較すると10ポイントほど低いものの、鳥取市の住民投票においても行政が発行する資料が広く参照されていたと言える。だが逆に、市が設置した掲示板については、通常の選挙の際に候補者のポスターを掲示するのと同様に設置されたものの、添付された関連情報表の文字が小さく、また掲示板自体のサイズも目立たないものであったためか、見たと

いう人は10%余りにとどまる。

一方、本調査において興味深いのは、各派のチラシを見たと回答した人の割合が、過去の調査と比べて最も低いことである。住民投票は公職選挙法の適用を受けず、投票運動は基本的に自由に行うことができるため、市民団体による情報発信はしばしば投票結果を左右する一因ともなる。市民からの直接請求を発端として最終的に住民投票が実現したこともあり、耐震改修派を中心として、市民団体による活動は先行事例と同様に活発なものであったが、それでも各派のチラシを見た人が半数に満たないことについては、次の3つのような解釈が可能と思われる。

まず一点目には、過去の市町村レベルの住民投票と比べて市域が相当広いため、市民団体によるチラシ配布の活動が旧市、旧町村部のいずれにおいても、人口が集中している地区や運動員の拠点となっている地区、人通りの多い場所などに限定された可能性が考えられる。実際クロスデータで確認すると、チラシを見たという回答は、旧市内では、本庁舎の所在地が含まれ耐震改修派の活動拠点も含まれる「北中」の校区において、他の地区より頭一つ抜けて多くなっている。また旧町村部でも、チラシを見た人の割合は、最も高い気高町と最も低い青谷町で30ポイント弱の開きがある（ただし、これらのことが校区别・地域別の投票行動に影響を与えているわけではない。）。市内全域にチラシ配布の活動を行き渡らせるには、地理的に見て一定の限界があったものと思われる。

二点目に、今回の庁舎問題は投票前年の直接請求運動の段階から既に活発な市民運動が行われていたため、その当時から必要十分な情報を得ていた市民は、住民投票の時点では各派のチラシに注意を払わなかった可能性がある。例えば、既出の間8との間でクロスデータを取ると、直接請求の際に署名した人は、庁舎問題に対する関心がより高い人と考えることができるが、署名の有無とチラシを参照したかどうかの間には、特段の関連性を見出すことはできない。署名に応じるか否かを決めた時点で、既に意見が定まっていた有権者も少なくないと言えそうである。

また三点目に注目すべきは、各派のチラシを見た人の割合が、新聞やテレビといったマスメディアの情報を参照したという回答と大きな差がない点である。様々な情報を勘案しながら判断を下したいと考える有権者は、市民レベルで発せられる情報とマスメディアから発信される情報とを横並びで比較検討するか、あるいは各自の価値観や知識量、情報発信源に対する信頼などに基づき、それぞれの情報を取捨選択しながら冷静に投票行動を決定していたと考えることもできる。この点については、次頁の〔2〕の集計結果も先取りしながら説明すると、テレビおよび新聞を一番参考にしたという回答は、佐久市の調査との比較において、（全体に占める割合は決して高い数値ではないものの）いずれの地域でも倍以上の割合となっている。もちろん、県都で行われた住民投票ということで、佐久市の場合と比べても地元メディアの取り組みがより積極的だったとも考えられ、単純に比較できない面もあるが、次頁の結果も併せて考慮すると、今回の鳥取市の住民投票では、市民レベルでの活動が地理的な面で限界を抱えていたこととも相まって、メディアの発信する情報の比率が相対的に高まっていたと捉えることができる。

[2] ではこの中で、今回の住民投票に関して一番参考にしたものを、一つ選んで○を付けてください。

【旧鳥取市】			%
1	市の広報や配布資料	131	23.5
2	市が設置した掲示板	2	0.4
3	各派のチラシ	73	13.1
4	テレビ	35	6.3
5	新聞	65	11.6
6	街頭演説	24	4.3
7	インターネット	5	0.9
8	近所の住人との会話	51	9.1
9	説明会や集会	28	5.0
10	その他	13	2.3
11	参考にしたものはない	105	18.8
12	わからない	18	3.2
99	無回答	8	1.4
	合計	558	100.0

【旧町村部】			%
1	市の広報や配布資料	158	25.0
2	市が設置した掲示板	7	1.1
3	各派のチラシ	96	15.2
4	テレビ	41	6.5
5	新聞	64	10.1
6	街頭演説	21	3.3
7	インターネット	1	0.2
8	近所の住人との会話	61	9.7
9	説明会や集会	35	5.5
10	その他	12	1.9
11	参考にしたものはない	105	16.6
12	わからない	19	3.0
99	無回答	11	1.7
	合計	631	100.0

[2] においては、住民投票に関して一番参考にした情報源について尋ねている。ここでもやはり、市の広報や配布資料を選んだ人が最も多いが、その割合は25%程度にとどまり、佐久市の調査における同設問と比較しても10ポイント余り低い数字となっている。他の情報源や「参考にしたものはない」との回答と比べても、飛び抜けて高いとは言えない。また、「各派のチラシ」と答えた人や「参考にしたものはない」との回答は、佐久市の調査とほぼ同程度の割合であった。

サ. 組織・人物からの働きかけ

[3] 今回の住民投票に関して、次の中では、どこ(誰)からの働きかけを一番参考にしましたか。あてはまるもの全てに○を付けてください。

		【旧鳥取市】	%
	市長	27	4.8
	市議会議員	45	8.1
	市職員	7	1.3
	市民団体のメンバー	89	15.9
	知人・友人	105	18.8
	家族・親戚	100	17.9
	町内会や自治会	20	3.6
	職場	26	4.7
	その他	4	0.7
	参考にしたものはない	245	43.9
	わからない	16	2.9
99	無回答	11	2.0
	合計	558	100.0
		【旧町村部】	%
	市長	30	4.8
	市議会議員	55	8.7
	市職員	17	2.7
	市民団体のメンバー	83	13.2
	知人・友人	107	17.0
	家族・親戚	106	16.8
	町内会や自治会	20	3.2
	職場	26	4.1
	その他	7	1.1
	参考にしたものはない	271	42.9
	わからない	23	3.6
99	無回答	16	2.5
	合計	631	100.0

組織や人物などによる働きかけについて尋ねた[3]では、過去5回の調査と同じく「参考にしたものはない」が最も多くなっている。他の事例と同様に、周囲の人物や有力者、組織などによる働きかけに頼るという形ではなく、自らの考えに基づいて投票行動を決定した有権者が比較的多かったと考えられる。

なお、今回の調査では、市民団体による直接請求を皮切りに事態が進展し、住民投票に至ったことを踏まえ、過去の調査にはなかった「市民団体のメンバー」という選択肢を新たに加えたが、マルを付けた人の割合は両地域ともに1割を超える結果となった。知人・友人や家族・親戚といった身近な人からの働きかけに匹敵する数値であり、市民団体による活動は、住民投票における対人接触という面で、重要な要素になりうるものと言える。

シ. 情報の取得度

[4] では、今回の住民投票で判断材料となる情報を、あなたはどの程度得られたと感じましたか。一つ選んで○を付けてください。

【旧鳥取市】		%	
1	十分得られた	39	7.0
2	ある程度得られた	231	41.4
3	どちらともいえない	128	22.9
4	やや不十分	76	13.6
5	不十分	77	13.8
99	無回答	7	1.3
	合計	558	100.0

【旧町村部】		%	
1	十分得られた	40	6.3
2	ある程度得られた	270	42.8
3	どちらともいえない	160	25.4
4	やや不十分	80	12.7
5	不十分	64	10.1
99	無回答	17	2.7
	合計	631	100.0

住民投票に関する情報をどの程度得られたと感じたかについて尋ねたこの設問では、「十分得られた」と「ある程度得られた」の合計がいずれの地域でも半数近くに上るが、この数字は、佐久市の調査で旧佐久市および旧町村部でともに55%前後に達するのと比較すると、若干低い数字でもある。逆に、「やや不十分」と「不十分」の合計では、佐久市と比べて5～10ポイントほど高い。[1] や [2] の単純集計の結果と併せて考慮すると、ここでの回答結果は、住民投票において判断するうえで必要な情報が、量的な面では不十分とまでは言えないものの、質的な面で決め手となる判断材料にやや欠けるというのが、今回の鳥取市の事例における状況であったことを示唆していると言える。

ス. 市の情報提供の積極性・公平性

[5] ではあなたは、今回の住民投票に関する市の情報提供やPR活動について、どのように評価しますか。積極性と公平性の両方について、それぞれ一つずつ選んで○を付けてください。

・積極性について

		【旧鳥取市】		%	
1	大いに評価できる	39		7.0	
2	ある程度評価できる	204		36.6	
3	どちらともいえない	144		25.8	
4	あまり評価できない	112		20.1	
5	全く評価できない	53		9.5	
99	無回答	6		1.1	
	合計	558		100.0	

		【旧町村部】		%	
1	大いに評価できる	41		6.5	
2	ある程度評価できる	240		38.0	
3	どちらともいえない	176		27.9	
4	あまり評価できない	120		19.0	
5	全く評価できない	38		6.0	
99	無回答	16		2.5	
	合計	631		100.0	

・公平性について

		【旧鳥取市】		%	
1	大いに評価できる	22		3.9	
2	ある程度評価できる	137		24.6	
3	どちらともいえない	173		31.0	
4	あまり評価できない	135		24.2	
5	全く評価できない	85		15.2	
99	無回答	6		1.1	
	合計	558		100.0	

		【旧町村部】		%	
1	大いに評価できる	42		6.7	
2	ある程度評価できる	167		26.5	
3	どちらともいえない	208		33.0	
4	あまり評価できない	122		19.3	
5	全く評価できない	68		10.8	
99	無回答	24		3.8	
	合計	631		100.0	

鳥取市の住民投票は、特定の計画案に対して「賛成」「反対」の2択で問う形式ではなく、新築移転案・耐震改修案という2つの案のうち一方を選ばせるものであった。既に説明したように、新築移転案に関する市の説明会はたびたび開かれてきたのだが、投票実施が決定した後で改めて説明会が開催されることはなく、市民にとっては両案の内容等について市の担当者と直接やり取りする機会がないまま、投票日を迎えることとなった。だが、投票参加を呼びかけるPR活動は比較的積極的に行われ、通常の選挙では実施したことのないバス広告や歩道橋などへの横断幕の取り付けも行ったほか、投票周知のための公式ウェブサイトも開設された。また、通常の選挙で選挙公報が配布されるのと同じ要領で、両案の比較表などを乗せた広報紙を市が作成し全戸配布されたのだが、これについては、市議会で合意された以上の情報が新築移転案にのみ追加され、比較表の耐震改修案の部分には空白が生じたため、移転反対派の議員や市民団体が抗議するという事態も起こった（『朝日新聞』鳥取版2012年4月28日、5月2日；『毎日新聞』鳥取版2012年5月2日）。これらの状況を踏まえ〔5〕では、市による情報提供やPR活動の積極性と公平性について、市民がどう評価したかを尋ねた。

まず積極性については、旧市・旧町村部のいずれにおいても、「大いに」あるいは「ある程度」評価できるという人が4割強に上り、どちらかといえば、肯定的な評価が多いと言える。一方、公平性に関する評価は割れており、両地域ともに、肯定的な評価を下す人の割合は3割前後にとどまる。「あまり」もしくは「全く」評価できないという回答の合計では、旧町村部が約3割、旧市内では約4割に上り、積極性に対する評価に比べ、市の情報提供の公平性に関する評価はより厳しいことが分かる。しかしながら、市の情報提供に対する評価の良し悪しによって投票参加の動向が左右されたわけではなく、投票参加／棄権と積極性および公平性に対する評価との間でクロスデータを確認しても、明示的な傾向が表れるわけではない。すなわち、情報の取得度について尋ねた既出の〔4〕とも併せて考慮すると、市の情報提供やPR活動に対して、市民の間でも肯定的な評価と否定的な評価が混在する中で、庁舎整備に関する両案を検討するうえで情報格差のようなものが生じ、そのために、十分な確信を持ってないまま投票所に足を運んだ有権者や、参加意欲はあったものの確信が持てずに棄権した有権者も少なくなかったということが考えられる。

セ. 合併に関連した感情、意識、考え

問11 今から8年前の平成16年11月1日に、旧8町村との編入合併により現在の「鳥取市」が誕生しました。それに関連して、いくつかお尋ねします。

[1] あなたは、上記の合併の時点でどちらにお住まいでしたか。

		【旧鳥取市】	
			%
1	旧鳥取市	510	91.4
2	旧国府町	3	0.5
3	旧福部村	0	0.0
4	旧河原町	2	0.4
5	旧用瀬町	2	0.4
6	旧佐治村	0	0.0
7	旧気高町	0	0.0
8	旧鹿野町	0	0.0
9	旧青谷町	1	0.2
10	その他の市町村	37	6.6
99	無回答	3	0.5
	合計	558	100.0

		【旧町村部】	
			%
1	旧鳥取市	17	2.7
2	旧国府町	93	14.7
3	旧福部村	36	5.7
4	旧河原町	101	16.0
5	旧用瀬町	62	9.8
6	旧佐治村	30	4.8
7	旧気高町	110	17.4
8	旧鹿野町	57	9.0
9	旧青谷町	101	16.0
10	その他の市町村	15	2.4
99	無回答	9	1.4
	合計	631	100.0

[2] [1]で1.~9.のいずれかを選んだ方にお聞きします。[1]で答えた旧市町村と比べて、あなたは、現在の鳥取市をどの程度身近に感じていますか。一つ選んで○を付けてください。

【旧鳥取市】		%	
1	身近に感じる	45	8.1
2	ある程度身近に感じる	47	8.4
3	特に変わらない	352	63.1
4	ある程度遠く感じる	40	7.2
5	遠く感じる	22	3.9
	非該当	40	7.2
99	無回答	12	2.2
	合計	558	100.0

【旧町村部】		%	
1	身近に感じる	26	4.1
2	ある程度身近に感じる	74	11.7
3	特に変わらない	165	26.1
4	ある程度遠く感じる	149	23.6
5	遠く感じる	188	29.8
	非該当	20	3.2
99	無回答	9	1.4
	合計	631	100.0

[3] すべての方にお聞きします。鳥取市の合併について、あなたは現在、どのように評価していますか。一つ選んで○を付けてください。

【旧鳥取市】		%	
1	大いに評価できる	24	4.3
2	ある程度評価できる	127	22.8
3	どちらともいえない	258	46.2
4	あまり評価できない	117	21.0
5	全く評価できない	27	4.8
99	無回答	5	0.9
	合計	558	100.0

【旧町村部】		%	
1	大いに評価できる	23	3.6
2	ある程度評価できる	128	20.3
3	どちらともいえない	148	23.5
4	あまり評価できない	221	35.0
5	全く評価できない	103	16.3
99	無回答	8	1.3
	合計	631	100.0

[4] すべての方にお聞きします。あなたは合併後の鳥取市で、市長選挙や市議会議員選挙には行っていますか。一つ選んで○を付けてください。

【旧鳥取市】		%	
1	毎回必ず行く	350	62.7
2	だいたい行っている	138	24.7
3	あまり行かない	17	3.0
4	ほとんど行かない	12	2.2
5	行ったことがない	39	7.0
99	無回答	2	0.4
	合計	558	100.0

【旧町村部】		%	
1	毎回必ず行く	468	74.2
2	だいたい行っている	113	17.9
3	あまり行かない	15	2.4
4	ほとんど行かない	9	1.4
5	行ったことがない	20	3.2
99	無回答	6	1.0
	合計	631	100.0

[5] すべての方にお聞きします。鳥取市が合併したことにより、現市のまちづくりに必要な財源として「合併特例債」を活用することができますが、これについて、次の二つの考え方があります。どちらかといえば、あなたの考えはどちらに近いですか。一つ選んで○を付けてください。

【旧鳥取市】		%	
1	返済にあたり7割を国が負担してくれるので、積極的に活用すべきである	167	29.9
2	借金であることに変わりはないので、活用は最低限にとどめるべきである	383	68.6
99	無回答	8	1.4
	合計	558	100.0

【旧町村部】		%	
1	返済にあたり7割を国が負担してくれるので、積極的に活用すべきである	191	30.3
2	借金であることに変わりはないので、活用は最低限にとどめるべきである	430	68.1
99	無回答	10	1.6
	合計	631	100.0

現在の鳥取市は、平成16年に旧8町村が編入合併して誕生した新自治体である。いわゆる「平成の大合併」で誕生した市町村で住民投票が行われたのは、同様の観点から調査を行った佐久市に次いで2例目であったため、市町村合併にともなう感情や評価などと、住民投票における態度形成や投票行動との関連性についても、本調査および今後の研究において探ることとしたい。

まず、合併時点での居住地について尋ねた[1]を見ると、「その他の市町村」と回答した人の割合は旧鳥取市で6.6%、旧町村部では2.4%にとどまる。したがって、本調査における回答者の多くは、旧市町村のいずれかの住民として鳥取市の合併を経験しており、市町村合併によって生じた意識や感情と住民投票との関連性について分析する上でも、必要十分な調査データが得られたと言ってよい。

そのうえで[2]の集計結果を見ていくと、現在の鳥取市に対する親近感は、旧市内

と旧町村部で大きな開きがある。旧市において特徴的なのは、「特に変わらない」が6割以上に達する点である。旧市町村の中で旧鳥取市は県都であるだけでなく、自治体規模の面でも紛れもなく中心的存在であり、旧市の住民にとっては、合併前も合併後も「鳥取市民」であることに変わりはないため、このような集計結果になるのはごく自然なことと言える。一方、旧町村部では「ある程度遠く感じる」と「遠く感じる」の合計が半数を超え、合併前の旧市町村と比べて現在の鳥取市に対して心理的な距離感を感じている住民が多いことが分かる。旧町村間でさらに詳細に比較すると、「ある程度遠く感じる」と「遠く感じる」の合計が6割以上となるのが用瀬、佐治、鹿野の各地区で、逆に国府町だけは鳥取市の中心部から距離的に近いこともあってか、他の7地区とは回答傾向が異なり、「身近に感じる」の合計も「遠く感じる」の合計も、ともに3割強である。

続いて〔3〕では、佐久市の合併に対する現時点での評価を尋ねているが、ここでも旧佐久市と旧町村部において〔2〕と比較的似たような傾向が見られる。「あまり評価できない」と「全く評価できない」の合計は旧鳥取市では約4分の1にとどまるのに対し、旧町村部では約半数に達している。合併そのものに対する不満も、やはり旧町村部では相対的に強いと言える。

また、いずれの地域においても、合併に対する評価と投票行動との間に一定の相関関係を読み取ることができ、合併を肯定的に評価している人ほど新築移転案に賛成し、合併への不満が強い人ほど耐震改修案に賛成する傾向が見られる。その傾向は旧町村部においてとりわけ顕著で、新築移転案に賛成した人の割合は、鳥取市の合併を「大いに評価できる」と答えた人で7割を超え、「ある程度評価できる」人でも6割近くに達している。逆に合併を「全く評価できない」という人では、耐震改修案に投票したという回答が約4分の3に達し、「あまり評価できない」人でも約65%が耐震改修案を選択している。したがって、これらのことから、合併に対する評価もまた、住民投票における賛否の行動を規定する要因として一定程度まで作用していたと考えられる。

〔4〕では、合併後の市内における選挙での参加度を尋ねた。「毎回必ず行く」と答えた割合は、旧市内でも約63%と比較的高いが、旧町村部ではそれをさらに10ポイント余り上回る数値となっており、平成22年に行われた市長選や市議選の投票区別投票率の傾向と概ね合致する。なお、住民投票における投票参加／棄権とのクロスデータを確認すると、合併後の市長選や市議選に「行ったことがない」と答えた人でも、旧市および旧町村部でそれぞれ3割前後が住民投票に参加したと回答している。「行ったことがない」の回答数自体は少ないものの、住民投票では、普段の選挙に足を運ばないような有権者に対しても関心を喚起することに、ある程度まで成功したと言えそうである。

最後に〔5〕では、合併特例債についての考えを尋ねている。これに関しては居住地域による差は見られず、いずれの地域でも7割弱の人が特例債の活用は最低限にとどめるべきと考えていることが分かる。また両地域ともに、「活用は最低限にとどめるべき」とする人のうち8割前後が耐震改修案を選択しており、庁舎整備のコストは極力抑えてほしいというのが、住民投票結果の意味するところであると解釈できる。ただ一方で、

[5] を無回答としたうえで、欄外に「わからない。そんな財源があることも知らないです。」と記載した人や、「これ(※合併特例債)が今回の住民投票に迷った主要因です。両者に〇できず。」と記載した人もおり、投票理由の記述などを見ても、合併特例債のしくみや特例債の存在自体が十分に理解されていない面もあるように感じられる。

ソ. 大規模災害への備えに関する考え方

問12 大規模災害への備えとして、次の二つの考え方があります。どちらかといえば、あなたの考えはどちらに近いですか。一つ選んで○を付けてください。

【旧鳥取市】			%
1	個人としての備えには限界があるので、できるだけ行政の対応に頼りたい	258	46.2
2	行政の対応も重要だが、できるだけ自分自身で万全の備えをしておきたい	295	52.9
99	無回答	5	0.9
	合計	558	100.0

【旧町村部】			%
1	個人としての備えには限界があるので、できるだけ行政の対応に頼りたい	276	43.7
2	行政の対応も重要だが、できるだけ自分自身で万全の備えをしておきたい	347	55.0
99	無回答	8	1.3
	合計	631	100.0

鳥取市の市庁舎整備に関する検討は、本庁舎および第二庁舎の耐震診断の結果、耐震強度不足が判明したことから開始されたものである。公共施設としての建物の耐震性を高めることはもちろん、市庁舎は大規模災害などが万一発生した場合の災害対応・防災の拠点としての機能も求められる施設である。他方で、先の東日本大震災でも明らかになったように、緊急時には行政の対応が充分行き届かない場合もあり、市民一人一人が日頃から防災への意識を高めておくことも同時に重要となる。それらのことを踏まえ、市民の防災意識という観点から、行政による対応と自分自身での備えのどちらをより重視するかを尋ねた。

まず単純集計で見ると、旧市・旧町村部ともに、「自分自身で万全の備えをしておきたい」との回答が半数を若干上回る。ただ年代別では、旧市においては20代と40代で、旧町村部においては20代と30代で、それぞれ「行政の対応に頼りたい」が半数を超え、また男女別で見ると、「行政の対応に頼りたい」と答えた割合は両地域とも男性より女性のほうがやや高い。本調査では個人についての込み入った質問は、統計学的に分析するうえで必要最低限のものにとどめ、家族構成や年収などは尋ねていないため詳細は不明だが、小さな子供を持つ親の世代や、不安定な雇用環境に置かれている若者などの中に、「行政の対応に頼りたい」と考えている層が相対的に多いと推測される。

なお、本調査は満20～79歳の有権者を対象として実施したため、80代以上の高齢者の方のご意見は含まれていないが、いざという時に「災害弱者」となるのはお年寄りや、あるいは障害者の方々などである。こうした方々への配慮に関しては、単純に多数意見のみで決められるものではなく、市庁舎整備にあたっては大きな方向性に沿って全体的な検討が進められる中で、個別に検討していくことが必要な領域と考えられる。

タ. 今後の財政の見通し

問13 あなたは、鳥取市の今後の財政の見通しについて、どのようにお考えですか。この中から一つ選んで○を付けてください。

【旧鳥取市】			%
1	特に問題はない	3	0.5
2	それほど問題はない	38	6.8
3	どちらともいえない	106	19.0
4	ある程度心配である	242	43.4
5	大いに心配である	164	29.4
99	無回答	5	0.9
	合計	558	100.0

【旧町村部】			%
1	特に問題はない	8	1.3
2	それほど問題はない	39	6.2
3	どちらともいえない	147	23.3
4	ある程度心配である	280	44.4
5	大いに心配である	149	23.6
99	無回答	8	1.3
	合計	631	100.0

鳥取市の財政状況は客観的な財政指標などを勘案すると、鳥取県内の4市の中では比較的健全と言えそうだが、市のホームページでも紹介されている「類似団体」との比較 (<http://www.city.tottori.lg.jp/www/contents/1348485064060/index.html>) からは、市財政の厳しい状況も垣間見える。どこに価値判断の基準を置くかによって、見方が分かれる部分もあると言えそうだが、市民の認識としては、今後の市の財政見通しについて心配する意見が多く、「大いに心配」と「ある程度心配」を合計すると、旧鳥取市で7割を超え、旧町村部においても7割近くに達する。

こうした財政に対する見通しは、住民投票における投票行動にも大いに影響を及ぼしており、両地域ともに、「大いに心配である」と答えた人の7割前後が、「ある程度心配である」と答えた人では6割弱が、それぞれ耐震改修案に票を投じたと回答している。これらのデータもまた、庁舎整備に関する財政負担の問題が、住民投票において大きな争点となっていたことを改めて裏付けるものと言える。ただ、住民投票の時点では、新築や改修にかかる費用は明示されていたものの、庁舎整備後の維持管理の費用については明らかにされていなかった。同様の調査を行った佐久市の住民投票では、「総合文化会館」の建設費用とともに年間の維持管理費の大まかな見込み額についても、市の配布資料などに明記されていたが、市庁舎の場合はいわゆる「ハコモノ」として批判の対象となりやすい他の公共施設とは異なり、市内のどこかに必ず必要な建物である。今後の議論においては、庁舎の維持管理にかかる費用も考慮に入れたうえで、市の財政全体の中で庁舎整備のあり方を位置づけることが求められるであろう。

チ. 市の行政に対する満足度・市長に対する業績評価

問14 あなたは、鳥取市の行政サービスに対してどの程度満足していますか。この中から二つ選んで○を付けてください。

【旧鳥取市】			%
1	大いに満足	8	1.4
2	ある程度満足	142	25.4
3	どちらともいえない	245	43.9
4	やや不満足	127	22.8
5	大いに不満足	34	6.1
99	無回答	2	0.4
	合計	558	100.0

【旧町村部】			%
1	大いに満足	5	0.8
2	ある程度満足	102	16.2
3	どちらともいえない	251	39.8
4	やや不満足	198	31.4
5	大いに不満足	68	10.8
99	無回答	7	1.1
	合計	631	100.0

問15 あなたは、竹内・鳥取市長のこれまでの業績をどのように評価しますか。この中から二つ選んで○を付けてください。

【旧鳥取市】			%
1	大いに評価できる	7	1.3
2	ある程度評価できる	121	21.7
3	どちらともいえない	197	35.3
4	あまり評価できない	152	27.2
5	全く評価できない	76	13.6
99	無回答	5	0.9
	合計	558	100.0

【旧町村部】			%
1	大いに評価できる	17	2.7
2	ある程度評価できる	143	22.7
3	どちらともいえない	232	36.8
4	あまり評価できない	163	25.8
5	全く評価できない	68	10.8
99	無回答	8	1.3
	合計	631	100.0

まず問14では、市の行政サービスに対する満足度を尋ねている。この設問では、旧市と旧町村部との比較において若干の地域差が確認でき、「やや不満足」と「大いに不満足」の合計で見た場合に、旧鳥取市では3割弱となっているのに対し、旧町村部ではその割合は4割を超えている。この傾向は、数字の上でも佐久市の調査と同様のものとなっている。旧8町村は合併により鳥取市の「周縁部」になったと捉えることができるが、「平成の大合併」により広域化した新自治体では、周縁部における行政サービスの低下に対する住民の不満が、全国各地で伝えられている。そうした傾向が一定程度、旧市と旧町村部との相違となって表れたと言えるだろう。また、住民投票における投票行動との間でクロスデータを取ると、行政に対する不満が強い人ほど、耐震改修案を選択する傾向が強い。当初、新築移転案が推進されていた中では「市民サービスの向上」が目的の一つとして掲げられていたが、市民の意識としては、市民サービスの向上をそこまで強く求めていたわけではなく、現状維持で充分と考える市民が比較的多かったと言えそうである。

続いて、竹内・鳥取市長のこれまでの業績評価について尋ねた問15では、両地域間の比較において明確な相違はなく、いずれの地域でも2割強の人が「大いに評価」あるいは「ある程度評価」できると回答している。こうした市長に対する評価もまた、住民投票における投票行動と密接に関係しており、市長に対して厳しい評価を下している人ほど耐震改修案を、市長を肯定的に評価している人ほど新築移転案を支持する傾向が、居住地域を問わず見られる。

ツ. 普段の政治や選挙について

問16 普段の政治や選挙に関することについてお尋ねします。

[1] あなたは、国や地方の政治にどの程度関心がありますか。この中から一つ選んで○を付けてください。

【旧鳥取市】		%	
1	大いに関心がある	121	21.7
2	ある程度関心がある	341	61.1
3	あまり関心がない	89	15.9
4	全く関心がない	6	1.1
99	無回答	1	0.2
	合計	558	100.0

【旧町村部】		%	
1	大いに関心がある	136	21.6
2	ある程度関心がある	361	57.2
3	あまり関心がない	112	17.7
4	全く関心がない	15	2.4
99	無回答	7	1.1
	合計	631	100.0

[2] あなたは、国や地方の選挙での投票について、この中のどれに近い考えをお持ちですか。一つ選んで○を付けてください。

【旧鳥取市】		%	
1	選挙で投票することは国民の義務である	187	33.5
2	選挙で投票することは、国民の権利であり、棄権すべきではない	269	48.2
3	選挙で投票する、しないは個人の自由である	100	17.9
99	無回答	2	0.4
	合計	558	100.0

【旧町村部】		%	
1	選挙で投票することは国民の義務である	222	35.2
2	選挙で投票することは、国民の権利であり、棄権すべきではない	286	45.3
3	選挙で投票する、しないは個人の自由である	114	18.1
99	無回答	9	1.4
	合計	631	100.0

[3] **市議会議員選挙**で、次の二種類の候補者がいるとして、あなたならどちらの候補者に、より投票したいと思いませんか。一つ選んで○を付けてください。

【旧鳥取市】		%	
1	鳥取市全体のことを考えて政策や公約を主張する候補者	457	81.9
2	あなたが住んでいる地区周辺のことを考えて政策や公約を主張する候補者	92	16.5
99	無回答	9	1.6
	合計	558	100.0

【旧町村部】		%	
1	鳥取市全体のことを考えて政策や公約を主張する候補者	361	57.2
2	あなたが住んでいる地区周辺のことを考えて政策や公約を主張する候補者	252	39.9
99	無回答	18	2.9
	合計	631	100.0

[4] あなたは、国や地方の政治をどのくらい信頼できるとお考えですか。国、地方の政治について、それぞれ一つずつ選んで○を付けてください。

・国の政治について

		【旧鳥取市】	%	
1	いつも信頼できる	2	0.4	
2	ある程度信頼できる	57	10.2	
3	あまり信頼できない	336	60.2	
4	全く信頼できない	160	28.7	
99	無回答	3	0.5	
	合計	558	100.0	

		【旧町村部】	%	
1	いつも信頼できる	2	0.3	
2	ある程度信頼できる	88	13.9	
3	あまり信頼できない	384	60.9	
4	全く信頼できない	148	23.5	
99	無回答	9	1.4	
	合計	631	100.0	

・地方の政治について

		【旧鳥取市】	%	
1	いつも信頼できる	7	1.3	
2	ある程度信頼できる	207	37.1	
3	時々は信頼できる	285	51.1	
4	全く信頼できない	50	9.0	
99	無回答	9	1.6	
	合計	558	100.0	

		【旧町村部】	%	
1	いつも信頼できる	7	1.1	
2	ある程度信頼できる	263	41.7	
3	時々は信頼できる	299	47.4	
4	全く信頼できない	49	7.8	
99	無回答	13	2.1	
	合計	631	100.0	

[5] あなたは、選挙の結果は政府のやることに、どの程度影響を与えることができると思いますか。この中から一つ選んで○を付けてください。

		【旧鳥取市】	%	
1	大いに影響を与える	128	22.9	
2	少しは影響を与える	314	56.3	
3	全然影響を与えない	110	19.7	
99	無回答	6	1.1	
	合計	558	100.0	

		【旧町村部】	%	
1	大いに影響を与える	119	18.9	
2	少しは影響を与える	380	60.2	
3	全然影響を与えない	117	18.5	
99	無回答	15	2.4	
	合計	631	100.0	

[6] あなたは普段、特定の政党を支持していますか。この中から一つ選んで○を付けてください。

【旧鳥取市】		%	
1	民主党	39	7.0
2	自由民主党	102	18.3
3	公明党	15	2.7
4	日本共産党	15	2.7
5	社会民主党	8	1.4
6	国民新党	0	0.0
7	みんなの党	7	1.3
8	たちあがれ日本	2	0.4
9	新党改革	1	0.2
10	その他	0	0.0
0	支持政党なし	330	59.1
11	わからない	33	5.9
99	無回答	6	1.1
	合計	558	100.0

【旧町村部】		%	
1	民主党	34	5.4
2	自由民主党	181	28.7
3	公明党	15	2.4
4	日本共産党	15	2.4
5	社会民主党	5	0.8
6	国民新党	2	0.3
7	みんなの党	10	1.6
8	たちあがれ日本	4	0.6
9	新党改革	1	0.2
10	その他	4	0.6
0	支持政党なし	312	49.4
11	わからない	31	4.9
99	無回答	17	2.7
	合計	631	100.0

これら一連の設問は、日頃有権者が国や地方の政治に対して抱いている意識が、住民投票における投票行動にどのように影響を与えているのかを分析するために設けたものである。今後、過去に調査を実施した各事例との比較分析を行う予定であるが、本調査におけるクロスデータからは、政治的関心が高いほど、また投票義務感が強い人ほど投票に行く人の割合が高いことが確認できた。他方、2つの案に対する投票行動については、国や地方の政治に対する信頼度が低い人ほど、耐震改修案に票を投じる傾向の強いことも、クロスデータによって示された。

また[3]は、本調査において初めて採り入れた設問であるが、市議会議員選挙における候補者像として「鳥取市全体のことを考えて政策や公約を主張する候補者」「あなたが住んでいる地区周辺のことを考えて政策や公約を主張する候補者」の二種類を挙げ、どちらにより投票したいと思うかを尋ねた。合併に伴い、とりわけ旧町村部においては、地元を代表する議員を議会に送り込むことが合併前より難しくなっているが、そうした

ことも反映して、旧市と旧町村部では単純集計の傾向にも違いが見られる。「住んでいる地区周辺」を考えてほしいという意見が、旧市では約17%にとどまる一方、旧町村部では約4割に上る。ただ、旧町村部でも「鳥取市全体」を考えてほしいという意見が半数を超えており、旧来型の「地域の顔役」タイプの市議会議員を求める有権者は、さほど多くないと言えそうである。

なお、[6]で尋ねた政党支持の比率は、両地域間の比較においては、自民党支持が旧市より旧町村部で10ポイントほど高く、その反面、「支持政党なし」層は旧町村部のほうが10ポイントほど低くなっている。また、同時期に行われたマスコミの世論調査と比べると、本調査では民主党の支持率がやや低めに出ている一方、自民党支持は旧鳥取市で同程度となっている。他方で「支持政党なし」層の割合は、同時期の世論調査と比べて概ね同程度か、やや高めと言える（『読売新聞』2012年6月12日、『朝日新聞』2012年6月6日、NHK政治意識月例調査：<http://www.nhk.or.jp/bunken/yoron/political/2012.html>）。

テ.自由回答

調査票の最後に設けた自由解答欄には、多くの住民の方々からご意見・ご感想をいただき、住民投票の2つの選択肢だけでは単純に割り切れない、多様な市民の考えを改めてうかがい知ることができた。明らかな誹謗・中傷にあたるものや個人が特定される恐れがあると判断したものを除き、ご記入いただいた内容をほぼそのまま、以下に掲載する。

なお、各回答はあくまでも、回答者自身の主観に基づく記述と言えるため、客観的事実とは異なる内容も含まれる場合がある。以下ではそうした「主観による誤認」についても、あえてそのまま掲載しているため、お読みいただく際には十分にご留意いただきたい。また、ここまで再三強調してきたように、今回の調査は住民投票の直後に実施されたものであるため、本報告書はあくまでも、投票後間もない時点での市民の意識や行動、考え方についてまとめたものであり、その点を踏まえたうえで以下の自由回答をご覧いただきたい。

<旧鳥取市>

日本の政治について、 1. 参議院は今の上でいくなら廃止してもらいたい(学識経験者等の人に出てもらいたい)。 2. 首相(総理大臣)は国民投票にした方がよいと思う。 3. 今の自民党、公明党の態度にはほとんどむかっている。何のための議員か自覚すべきである。 4. 各議員の人間性に欠く。国民の代表であるためには責任を持ってほしい。
この度の住民投票のことは、景気が悪いときに市庁舎新築はもつてのほかで、景気が良くお金が流通していれば新築をしても良いと思っていました。
市長、市議会議員は将来のことを考慮しているのだろうか。 目先のことのみ考えているのではないか。しっかりしてほしい。
住民投票のやり方は公平なようで偏っていると思います。
この度の選挙には用事があり投票には行けませんでした、改築のほうが多かったことに喜んでおります。 投票に行っていれば、改築に入れようと思っておりました。
今回のように、市民全体に影響を及ぼす重要な案件は毎回住民に問うて欲しい。 市民の意見に耳を傾けない議員は意味がない。 政治は誰のものかという認識に欠けた議員が多い。 明日の生活に困っている小市民が救われない政治が未だに行われている。 仕事がない人が未だに多い。 現実問題、市庁舎どころではない。税金も国民保険も高すぎる。
住民投票は、民意を主張できる点が大変良い制度である。 黙っていれば、行政執行側と議会がなあなあで簡単に意のままに実行されてしまう。
今回の意識調査が無作為抽出ということで、自分が選ばれるとは思っていなかった、封書が届いたときは驚きましたが、こういったことは滅多にないので、この調査に参加できてとても良かったと思います。
問2の理由の意見を書ききれなかった、こちらの余白のほうに書けば良かったと思います。
・市庁舎整備をめぐる問題について… 情報公開及び説明が全くといっていいほどされず、市当局と市議会が「なれあい」で進められた点が大いに不満。 ・今回のこの調査について… 市の選挙人名簿の数はある程度分かりますが、このアンケート調査をどの位の数に送付されたのか、説明書のどこかに書いてあってもと思いました(1,000人とか3,000人とか5,000人とか)。

<p>ここ近年、鳥取駅前がさびしすぎる程、お店が何にもない。 鳥取市は県庁所在地なのに、米子市の方が若い人にとって魅力的なお店がたくさんあると思っています。 「若い人不足」を嘆く前に本当に駅前の活気のなさをどうにかしてほしいと思います。 若い人にとって鳥取市は魅力はない。 市庁舎整備をするお金があるなら、どうにかしてもっと鳥取を盛り上げて県外からお客さんをお呼びしてみたらいいのに…と思う。 せっかくキレイな空気や砂丘、おいしい野菜があるのにもったいない。</p>
<p>鳥取市はもっと生きた金を使え！市庁舎整備をすることよりも、もっとすることがあるだろう。 市職員全員で考える。</p>
<p>私の意見がどれほど役に立ってるかどうか分かりませんが、集計の結果が気になります。</p>
<p>わざわざ住民投票を大きなお金(税金)を使ってまでしなくても、前回の市長選挙の時に、市庁舎の建て替え問題をひとつの公約として挙げて選挙をすれば良かったと思う。 その方がはっきりとしてわかりやすく、もっと関心を住民が持てたと思います。 今回、民意と言ってはいるけど、「どちらでも良い」と思っている大勢の方は投票に行かなかったと思いますので。</p>
<p>住民投票当日に、朝から町内の草刈り活動などの行事が入り、それから仕事に行かなければならず、投票に行く時間がなかった。 市民や町内において、住民投票に対する認識が低いことを感じた。</p>
<p>市長の演説はあまり信用できないと思いました。</p>
<p>現市役所では耐震工事をしてもたないと思う。県庁と違って地盤がゆるいと思う。 旧市立病院では津波が来る。場所の選び方をもっと勉強すべきだ。</p>
<p>今の市長にはあまり期待していません。</p>
<p>市長は、2月の寒い早朝に何度か、コートを着て1人で街頭演説を行っていた。好感を持つことができた。 それに反し、市議員は日和見主義的であったので、(両方)大変不満が残った。</p>
<p>何をもち、誰が住民投票の対象とするのか、不明である。 (議員が可否を決めることが不愉快である。) 本調査結果は、市報に掲載するか、または議会に伝え、一般の方々へ知らせることも必要だと思う。 (大学の研究だけではもったいない。)</p>
<p>国の金をあてにして、借金するのは反対！国の金も結局は自分の金(借金)そのものです。 市の税金が少なく、それなりのものができるから建て替えに賛成なんてことしてるから、国がダメになる。 国民みんながそれに気づくべき。このままでは、日本はOUTです。</p>
<p>市長がもっとわかりやすく公正に進めていたら、新築案の方が多数をとっていたと思う。 2案より、市長の考え方に反発したのではないかと思う。 元県知事の片山さんのような手法をまねしてきたツケがこの結果。 次の市長選に大変影響が出る。</p>
<p>A・B両案の提案者による公開討論などを行うなどし、客観的データ等、市民の判断材料が提示されるべきであった。 ※今回の住民投票においては、市民の判断材料が貧しい中で意思決定が行われたため、この結果が正しい選択であったのか自信が持てないでいる。</p>
<p>署名をしたかったが、名簿が回ってこなかったためできませんでした。 住民投票が自身の意思を表明できる場となりました。 投票がなければ、市長の意見が通されていたと思います。そう思うとあって良かったと思います。 市長のやり方はいきあたりばったりで無計画だと思います。</p>
<p>以前、今の庁舎では足りないと言って、別の庁舎を何億もかけて取得したばかりなのに、特例債が今なら使えるから、市民が2つもあると不便だから1つにまとめると言っているが、駅前にも活性化のために何億もかけてアーケードを作る予定だが、誰もそれを望んでいない。 本当にアーケードを作れば人が集まると本気で考えているのが信じられない。 本当に鳥取を好きで愛しているのなら、都会を真似しなくても鳥取らしい街づくりをすればいい。 それをわかっていない。市長の考えは鳥取人として考えられない。みんなバカにしている。</p>
<p>2択の主張のみに固執した住民投票だったと思います。 他の選択肢も含め、鳥取市の将来について、市民が考えるよい機会と考えていました。 しかし、現本庁舎耐震改修派のヒステリックな言動に個人的な意向を感じ、残念でした。 若い世代も含め、オープンな主張・ディスカッションを重ねて、市民の意識を高めていく方法はなかったのかと思います。 短時間で急かされて、市民の結論を迫った住民投票だったと感じています。 そして何より、市議会の未熟さが最大の問題であると考えています。</p>

<p>住民投票でかかった費用の全ては、住民負担とせず、市庁舎整備問題に関与した市職員の給与から拠出すべき。</p> <p>住民と市議会の意識・感覚の大きなズレが招いた、行政の恥ずべき姿と映った。</p>
<p>今回の住民投票の結果は、日本の地方・国の政治と同じではないか。</p> <p>口では市民・国民のために一番良い事を決めると言っているが、本当にそのようになっているか不信だ。</p> <p>選挙の時には、「みんなのために頑張る」「お願いします」と言いながら、そんなこと忘れて、自分たちのことばかり考えている。</p> <p>今回のことで、市民の声を反映させられなかった決定に対し、市長や市議会議員はどのように責任をとるのかと言いたい。</p> <p>たぶん責任はとらないので、次回の選挙で反映させたい。</p>
<p>今回の住民投票は、正確な情報は流れず、行政の批判ばかりに終始した。</p> <p>また、一部の市議会会派まで悪がたまりし、虫の目になった批判を流し続けていた。</p> <p>本当に判断材料が示されず終わってしまった。</p> <p>今後はお互いが市民の前で本音が語られるような場を作って欲しい。また、市議会に少し落胆した。</p>
<p>私は聴覚障がい者なので、情報が入ってくるのは限られてきます。</p> <p>今回の住民投票、市庁舎整備をめぐる問題についての情報は少なすぎます。</p> <p>そのため、自分の頭で判断ができず、家族と相談し、話し合いました。情報はとても大切です。</p> <p>でも、どちらの案もメリットとデメリットがはっきりと公表されておらず、判断に困りました。</p> <p>また、妊娠中であることもあり、次世代(子供)に負担をかけるのはいやだと思い、投票しました。</p> <p>今後は、情報をはっきりと流すべきだと思います(障がい者関係なく)。</p>
<p>市庁舎整備で、選択がどうして二つだけだったのでしょうか？</p> <p>現本庁舎を耐震するのではなく、新築(移転)することはできないのでしょうか？</p> <p>全部の庁舎を一つにまとめようとするから、多額の費用がかかり、反対意見が出たのだと思います。</p> <p>耐震改修しても何年もつか分かりません。同じお金をかけるなら、現本庁舎を新築してほしいです。</p>
<p>住民というものは、なんと身勝手なものかと思いました。結局、狭い身の回りしか見ていない。</p> <p>他人の意見にも左右されるものだと感じました。</p>
<p>安心している結果。推進派は強く行動しないから、反省すべき。解散して、もう一度民意を問うべき。</p>
<p>今回のことは、もう少し行政サービスが地域住民に密着していれば、結果も変わったでしょう、そもそも住民投票はなかったと思います。</p> <p>市の必死さは全く感じられず、考えや思いがあるのなら、もっと積極的にアウトプットし、感情や温度の感じられる行政であって欲しいと考えます。</p> <p>互いに意見を戦わせ、理解を深めるということがもっと必要だと思いました。</p>
<p>・耐震改修賛成派＝旧市庁舎周辺の商店街の人(土日休日、17:00以降閉店するシャッター商店街)</p> <p>VS</p> <p>・新築移転賛成派＝移転建設の利権にからんだ人</p> <p>⇒その他住民にはほとんど関係ない選挙で、税金のムダ遣いだと思う。</p> <p>どちらの言い分もお互いのエゴにしか聞こえなかった。</p>
<p>庁舎整備をめぐる問題で住民投票をすること自体がおかしい。</p> <p>市議会は住民の代表として選ばれているのに、市議会で解決できないようでは、安心して市政を任せられない。現市議にはやめてもらいたい。</p> <p>また、市の職員も積極的に住民を説得できなかったことは力不足。</p> <p>後世に借金を残すことのみが前面に打ち出されているように思えたが、今の調査を見る限り、最新の整備とは程遠い。人口が激減している中で、住民だけの庁舎ではなく、グローバルに対象を広げていけるような国際感覚を含んだ庁舎が将来的には必要だと思います。</p> <p>また、市のリーダーである市長には幻滅しました。住民投票の結果を踏まえて方針を変更したことに、リーダーとしての器のなさに、市政のかじ取りができるのか疑問。</p> <p>問題によっては、自分の信念を曲げず、理解を求めていく熱き思いが欠けているので残念。</p> <p>住民も経済が低迷している中で資金面にはシビアになっていると思うが、精査すればムダなお金が出ていると思うので、目先のことばかりにこだわらず、将来を見据えてほしい。</p>
<p>鳥取市は産業もあまりなく、財政の豊かな市ではありません。</p> <p>ここ数年景気も悪く、そのしわ寄せは弱者(母子家庭、障害者etc.)にきているのかなと感じる日々です。</p> <p>それなのに市は、イベント・箱物への税金を使っています。</p> <p>私達市民は、もっと違うことに(今困っている人たちへ)使うべきだと思っていた矢先、この問題が起こりました。</p> <p>最初、私のような一市民の気持ち行政へ届くはずがないと思っていましたが、今回の住民投票を通じて、こういう形で行政へ参加できたことをうれしく思いました。</p> <p>住民団体(市政を考える会)メンバーの方々への感謝と同時に、もっと市民(国民)が参加できる政治であって欲しいと思います。</p>

<p>今度の住民投票は、実施され有意義だったと思います。 ただし、永住外国人(特に韓国籍の人)の投票を制限したことは、適切だったかどうかと考えます。</p>
<p>(市庁舎を)1つにまとめられても困る。久しぶりに市役所に行ったとき、駅の裏側は多かったのが駅前に行ったら、すごく人が少なく、パスポートを取るときも県庁に行くのだが、駅前に近くて便利。 市庁舎整備にしても、ちょこっと家族で話したが、合併した後、旧町村で比較的新しい建物を見てもったいないと思った。使っていない旧役場等の施設など、もったいない。全部借金だ！ くもの巣が張るだけで、もっと既存の施設等を活用するとか考えるべきだ。 住民の生活、鳥取市の財政も厳しいのに、いいかげんにしろという感じである。</p>
<p>住民投票をもっと多くの案件に対し、広める方がよい。</p>
<p>市庁舎整備のことよりも、小学校の校舎の方が先だと思えます。 まず、全ての小学校の教室にクーラーを付けてやってほしいと思えます。 学校でも整備したりしてしのいでいるのに、市庁舎新築はないと思えます。</p>
<p>耐震問題で市庁舎の新築かどうかを揉めています。地震が来るかどうか疑問があります。 新築が費用が高いから問題になっているのなら、安くする努力をしたのか疑問です。 常に多数決が正しいとは限らない。 市は百年もつ建物を造ると言っていたが、百年後に鳥取市があるとは限らない。</p>
<p>地元でも調査し、住民投票の前に自前で調査し、納得できる説明をもって議決して実行できるようにすべきである。</p>
<p>鳥取出身の石破さんのような方に市長になっていただいて、鳥取を良くしてほしい。</p>
<p>住民の立場と勤務関係の間で、少し戸惑いました。 (経費などは極力少なめと思いつつ、雇用・仕事面などのことを考えたり、孫たちのことを思ったりして…) 将来のことを考えたら、どっちが良かったのでしょうか？</p>
<p>私は現在は無職ですが、今の若い方は自立心が少なく思えます。 いつも国政・市政と言いつつ、何かあると自分のことは棚に上げて、国・市町村のせいと悪口ばかり考え、良いこともたくさんあるのに、それに気付かない人が多いと思えます。 私は自分でできることはやり、動ける間は何事も前向きに上を向いて生涯を終えたいと思っています。 調査にあられる方、本当に大変だと思いますが、頑張ってください。 年金生活ですので、増税は困ります。よろしくお願い致します。</p>
<p>・市庁舎整備の二択を選ぶ住民投票がそもそも必要であったのか。何のために議会があるのか。 わざわざ税金を使って住民投票をしなくても、大きな市政の枠組みの中で、計画性を持って、まちづくりをすべきと考えた。 ・市内の小学校に勤めているが、トイレなど改修されないまま、簡単な耐震工事で我慢している学校がいくつもある中で、なぜ市庁舎だけが新築したり、大規模改修を当然と考えられるのか、という不満を持っていたので、投票しなかった。 ・市としての予算の割り振り、将来への見通しをもって事業はなされていると思うので、全体をよく知らないまま、市庁舎一つどうするかと問われても、妥当な答えが出るとは思わない。 ちょっとした一部市民のお祭り気分の発現とも思えるところがバカバカしい。 (研究の発表を楽しみにしています)</p>
<p>突然に市庁舎移転・新築の記事が出て、多くの市民が驚きました。 すぐに疑問の声があがり、どう考え、どう対処するのがいいのか、勉強会・話し合いが催され、皆が考えました。 思いのほか多くの方の賛成があり、住民投票が成立し、多くの市民の意向が反映され、非常に良かった。 市長がその結果を尊重して、耐震・改築の方向にする、今後の計画もよく検討していくと発表され、良い方向になりました。 調査された結果がどのように出てくるかなど、とても興味があります。結果発表を楽しみにしております。 アンケートの設問が明快で、思うことが書きやすかったです。</p>
<p>地震後、庁舎の耐震性・安全性をうたい文句に、急ぎよ、駅前広場・現庁舎・旧病院跡地を候補地とする役所側の提案云々の経緯があった。 現庁舎が約50年を経過していることは事実でも、進め方が強引すぎたことへの反発と感じている。 ことに、駅前広場の候補地は最悪で、移転への不信感そのものだ。 病院跡地が長期的に見て「良」だったとしても…。唯我独尊すぎの様子が段々と…！</p>
<p>市庁舎整備について、新築or改修・増築の対立のみが問題となりましたが、各陣営が互いの問題点をあげつらうだけで、議論として成り立っていないように感じました。 理想を言えば、互いに利点・欠点を洗い出し、もう少し議論として深まれば良かったのですが。</p>

<p>市庁舎移転計画で議会多数派は、新庁舎への移転決議を行ったのであるが、住民投票の前に行われた署名の圧力で、住民投票を行った。6,000万円という巨費を投じて、自らの決議を否定されたという意味において、市議会が住民の意思を集約していないということが今回、証明されたと言える。地方議会は存在意義を問われたと言えよう。「地方自治」はブームのように喧伝されているが、その内実は人的に貧困であり、所詮は少数派による利権のむさぼりの現実にある。何もかも住民投票というのは、本質的に民主主義の危機であり、明確な現状分析に基づいた計画と戦略ある自治組織のためには、人づくりから始めていかなければならない。</p>
<p>本庁舎と駅南庁舎の距離があり、今は利便が悪い！ 新築移転の方が駅も近く、また年金・保険事務所も近隣で、総合的な利便性がアップする。車で行ったり来たりしないので、CO2削減で地球にもお年寄りにも優しいのではないのでしょうか！ 現本庁舎を耐震改修工事をして、維持費がかかると思います。 あと、工事期間中の工事車両の駐車など、今の業務に支障をきたす恐れがある。 長期的・総合的に新築移転の方が良いと思いますが、賛成派のアピールのやり方は下手だったと思います。(耐震改修工事だと)安物買いの銭失いになると思うのですが…。</p>
<p>住民投票にすれば、お金を使うのが少ない方に票が集まるのは当然。 問題は庁舎が老朽化しており、全面改修が必要だということ。これは議会にて決めるべきことだと思う。 当面の耐震改修くらいでは疑問が残ります。</p>
<p>1. 問10[4]で(判断材料となる情報を得られたかどうかについて)不十分と回答したのは、新庁舎新築のメリットだけを鳥取市がPRしており、情報開示が全く不十分であったためである。案のメリット・デメリットを公平に開示すべき。鳥取市の姿勢に不信感を抱く。 2. 国・地方の政治にしても、国民・県民・市民の政治をすべき。議員や市職のための偏った政治はすべきではない。 3. 市庁舎を新しくするのであれば、まず鳥取市職員の給与カットをすべき。鳥取市職員は恵まれている。(県職員よりも恵まれている。) 4. 庁舎を1ヶ所に集め新築するよりも、反対にある程度分散していた方が災害時にも良いのではないか(リスクの分散化)。 5. 数千万程度の大きなお金を使う時は、住民投票をすべき。無駄遣いが多すぎる。</p>
<p>初めての経験で、市長さんや役人さんの誰かがやってくれるとあまり考えたことのない自分の町の先のことを思い描くことができました。 残念な結果になりましたが、大震災がなかったら結果は変わっていたかもしれないかな。</p>
<p>今回の件については、住民投票ではなく市議会で決めるべき。 こんなことくらい決められないような議員では困る。</p>
<p>投票日までの期間、耐震改修の費用の方がいかに少なく済むかを強調する街頭演説ばかりのようであった。 投票率が低いことを考えると、すべての住民が2つの意見の長短を納得し、関心をもって住民投票に臨めるような方策の研究を進める必要を感じる。</p>
<p>義姉が隣の県の松江市に住んでいますが、松江市では鳥取市庁舎整備に関する住民投票について、大いに関心があり、鳥取市の住民投票の結果を見て、新庁舎建設の案が立ち消えになったと電話がありました。大いに波及効果はあったと思います。</p>
<p>新築移転が先行し、跡地利用が後回しになったこと。 このような投票は詳細はとにかく、結果は初めからわかっている。 もう少し市議会で決めることができなかつたのか。 市役所については決定したのだが、今後、市民病院跡地の活用問題等、せっかくの機会なので、これで終わるのではなく、引き続き市民が参加できるような企画や情報をどんどん発信し続け、市議会があてにできないから、一般市民で決めていったほうが良い。</p>
<p>マスコミ報道のあり方に疑念あり。</p>
<p>住民投票があったのは非常によかったと思っています。 本当の民意で白黒が示されて、この結果を市長は受け止められて、今までの進行を改められるのは、少し偉いと思います。</p>
<p>公務員、鳥取市議会議員、鳥取市長、あなたたちは給料をもらいすぎです。 小企業の給料とあなたたちの給料を比べてどう思いますか？ 選挙や住民投票にしてもお金がかかるでしょう。本当に困っている人にはお金がないのに、こんなことにお金をかけてもいいのでしょうか？</p>

<p>新築派、約3万人。改修派、約4.7万人。大差で結果が出た。 H24.5.31(木)の日本海新聞に、「私の視点」として投稿された、 ”「有識者会議」隠れ蓑に利用”には同感。 「耐震改修が必要」との報告に、市長が舞い上がった結果。 当初の90億円を74億円に値引きし、それで押し切ろうとした姿勢。聞く人もいない街頭演説。 あの時間、あの場所で、何の説明ができるのでしょうか。 かえって不信感が増すばかりでした。</p>
<p>議会制民主主義を否定する行為。議会は何をしているのか。「決めること」ができない議会、 それが鳥取市議会の現状であり、市長不信任→議会解散or市長辞職。 市長はやり方・進め方がよくない。リーダーシップなし。</p>
<p>箱物ばかりに使わず、中身で勝負してほしい。 地方古来の文化の継承、細い道の拡張、働く親のための保育所の充実、学童の学力向上等々。</p>
<p>費用面のみ取り上げられたようで、少々残念。 将来について論じておらず、建て替えにあたっての構想等など伝わらなかった。 政策についても同様で、目先の論争で終わった感じだ。</p>
<p>期日前投票をイオンでできるようにしてあったので、利用しました。 駐車場も広く、介護の必要な老人も連れて行くことができ、大変助かりました。</p>
<p>・市役所の新築・移転にかかる莫大な費用を、県外企業誘致に使用していただいて、 もっと雇用問題を考えていただきたい。 ・もし新築となると、今の市役所の建物の利用はどうするのか？ 他に再利用する場合でも、耐震・強化しなくては使えないので、新築・移転に反対しました。</p>
<p>本当に住民のために動いてくれる市会議員の方はおられるのか。全部自分たちのためではないのか。</p>
<p>・鳥取が活性化して豊かになってから、市役所の整備をするしないを考えてほしいです。 もっとそれ以前にすることがあると思う。 ・無駄なお金は使わない。 ・若い人たちの雇用の問題(企業を増やす)。</p>
<p>竹内市長はまったく庶民の生活をご存知ではない。この不況であえいでいらっしゃる方はたくさんいます。 税金が払えない状態が続いているのに、これ以上借金をして何をしたいのか。 公共料金も上がり、大変な生活を強いられているのに。 所詮、公務員の方たち、役人の方たちには、この苦しさは理解できないでしょう。 そして、銀行の対応にも腹立たしい。公務員にはすぐに融資はするが、中小企業・自営業には 全く理解を示さない。いったいこの日本の政治はどうなっているのか？ 対面上の緩和をうたって、実態がおそまつである。早く民主党はおりるべきです。 この度の住民投票は非常に良いことだったと思います。</p>
<p>市役所という役所は、できるだけ1ヶ所に固まっている方が、何かと便利です。</p>
<p>市町村合併になったとはいえ、ただ少し大きくなっただけで、統一感がありません。 新庁舎をきっかけに、活気ある都市作りができると思ったのですが…。 町全体がゴチャゴチャしています。 改修するにしても、本庁舎を中心にしっかりと市政を行ってほしいものです。 反対派の方は、金銭面しか訴えていなかったように思います。 市民は納得すれば、借金返済にも応じると思います。 とにかく住みよい町になってほしい。少数派かもしれませんが、一市民の声です。</p>
<p>1. 市議会で提案したのだから、住民投票など必要ない。そもそも市長も市議も選挙で選ばれている。 2. 住民投票に対する試論も、新築がYesかNoかが争点となっており、将来ビジョン等が 語りつくされていない。 現在の世論の、税金の無駄遣いとか、目先のコストだけ論ずる方が、世間受けが良いに決まっている。 3. 新築反対者のほとんどが、現庁舎近辺の自営業者や住民であった。 4. 鳥取市は佐治も青谷も国府もある。交通の便も重要。</p>
<p>従来議員さんらしい活動として、本当に一生懸命尽くしていただいたのだと思います。 ですが、時代の変化を感じたり、新しい考え方・関わり方を選択する1つと捉えての活動にして いただきたかったと感じました。 しかしながら、一生懸命関わるほどに頭が固くなるのは、私もそうですので理解できるのですが、 選択する時の固い考えはマイナスがあることを、この度改めて感じました。</p>

<p>鳥取県は、中海干拓事業を住民運動を基盤として凍結させるなど、おとなしい県民性の割には、行政に対する意思を形にしてきました。</p> <p>人口が少ないことは、選挙の投票時の一票の重さにつながり、過密地との格差も生んでいます、良い面もあると思います。</p> <p>それが成立するのは、幼少期より権利を行使することが大切という習わしが伝えられているからです。</p> <p>今回の投票も子ども連れの方をよく見かけました。</p> <p>全国の住民運動成功地で、何がポイントであったのか、是非知りたいものです。</p> <p>研究の成果を期待しています。</p>
<p>新築推進派が勝つと思っていましたので、結果は意外でした。少し残念に思います。</p> <p>今回の住民投票は、多額の経費のかかる事業の市民合意のあり方に一石を投じたものと認識している。</p> <p>鳥取市や市議会は、今後の市民合意の方法を根本から見直すべき。</p> <p>合併特例債が借金に変わらないことを、市は正直に市民に説明すべきだった。</p> <p>また、今回の住民投票は2つの考え方の主張が一方的すぎて、議論が深まらなかった感じを受ける。</p> <p>公開討論会のような仕掛けも必要だったのでは。</p>
<p>市民のために、市民のことを考えて。</p> <p>今回の庁舎問題は、当初は多くの議員が新築に賛成した。市民の意見を求めることをしなかった。</p> <p>議会のテレビ中継を見ている、質問が市長に追従するような意見が多くあった。</p> <p>議員は勉強が足りないと思う。</p>
<p>今の政治、メディアには信頼できない。</p> <p>今回の住民投票は反対派の意見の演説ばかりで、住民はそれに流されている人が多いように感じた。</p> <p>特に老人は、周りの意見を鵜呑みにし、20～30代は行政に反対することを美徳にしているように思える。</p> <p>保守的な人が増えたのではないのかと、周りの人の意見を聞いて感じるが多かった。</p>
<p>もっともっと国民や住民を大切にすることが重要なのではと思います。</p> <p>行政があまりに事務的すぎるあまり、住民の生活を知っていない。</p> <p>鳥取本庁舎移転により、市内に人を減らし、シャッター通りにするのはどうかと思う。</p> <p>旧鳥取市区域に活気がなさをさざる。</p>
<p>今回の住民投票をしたことは良かったと、個人的には思っている。</p> <p>結果については残念ではあるが、予想通りになったと思っている。</p> <p>これは日本人の共依存がこの結果を生んだと思っています。</p> <p>もう一つは、市長・(特に)市職員と市民との信頼関係の無さが、この結果を生み出したと思う。</p> <p>今後いろいろな住民投票や国民投票があると思うが、欧米のように個人個人がもっと自分の考えを表して、投票してもらいたい。決してメディアに流されずに。</p>
<p>市長寄りの市会議員の行動は大いに疑問を感じた。個々の主張に欠ける。</p> <p>人口の少ない鳥取市には、公共施設が多く、有効活用されていない。よって、増築には反対である。</p> <p>わざわざ住民投票をして、新築に反対されていると感じ取ってくれたかと思ったら、結局、賛成意見しか望んでいない投票だったのかと呆れています。</p> <p>借りなくてもお金があるのに、金利が安いからとわざわざ借りますか？ 借りませんよね？</p> <p>あるお金でやりくりしませんか？</p> <p>反対か賛成かを住民から聞きたいわりには、賛成意見を必死でかき集めてませんか？</p> <p>いさぎよく改修すればいい。</p> <p>子供を育てやすい市にしてください。少子化になる市っていうのも、うなずけますね。</p>
<p>小泉構造改革時に、地方交付税の減額を人質に市町村合併を自治体に迫ったのが平成の大合併。</p> <p>交付税減少、地方分権の潮流から考えれば、鳥取市は何で食べていくかが肝要なことになる。</p> <p>公共事業が無く、基幹産業であるサンヨーの縮小を考えれば、新庁舎の問題よりも鳥取市の活性化策に力を尽くさなければいけない。</p> <p>だから、住民投票そのものについては、鳥取市政の主題となるようなものではなく残念であるし、財政健全化至上主義の財務省の洗脳がうまくいっていることが、地方においても証明された。</p>
<p>1. 市議会議員・県議会議員・国会議員は、政治に関して高い見識を持ち、実行力を持ちたいものである。地区・地域への利益誘導型の人間では困る。</p> <p>2. 賢い妥協(Wise Compromise)という言葉があるように、極端に走らず、お互いの知識と英知によって、物事を解決するような方策をとることが大切である、と思います。</p>
<p>市庁舎の問題は、もう少し早い時期から住民に公開してほしかった。</p> <p>急に現在地か市民病院跡地かと聞かれた感じだった。住民不在で進められた恐れがあった。</p>
<p>鳥取は自然はいっぱいですが、仕事はありません。住民投票するために、5,700万円かかったそうです。</p> <p>市長・市会議員等、もっと市民の気持ちを考えて、ここまでムダな投票など、初めからする必要はなかったと思います。老人の多い鳥取市に、返済できる経済力はまったくありません。</p> <p>”今、何が一番必要かをよく考えるべき”全国で初めてとか…、恥ずかしいです。</p> <p>次回選挙で、今の市長、新築と言っていた市会議員は落選すると思います。</p>

<p>住民のほとんどは、竹内市長に不満を持っています。その思いが今回の結果につながったと思います。何事をするにも、賛成・反対はあるので、これでやむなしかなと考えます。ただ、多くの税金が使われたらと思う。2択以外の選択ができないのは何故か？ 市民からも意見を聞くべきだった。</p>
<p>もっと一般市民に寄り添える政治をしてほしいですね。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宣伝の仕方が選挙結果に大きく影響すると感じた。 ・クチコミの力が大きいと感じた。 ・結局は、個人の利得がその人の方針を決めていると感じた(特にお店の経営者)。 ・投票率は低かったが、私の想像以上に人々が関心を持っていた。楽で景気の良い時代が終わり、政治家や公務員任せではダメだということに、一般の人々が気づき始めたのでしょうか。 ・私が特に気になったのは、建物に要する費用です。各団体から発表された費用算定の基準がよく分からず、単純に発表された費用だけでは比較できないと感じました。問題なく比較できるデータとすべく、第三者機関が基準等を統一し、公正に発表すべきだと感じました。 ・合併特例債を大いに活用した新築移転になると思っていましたが、なりませんでした。むやみに借金をしないという考え方の人々が多いという結果に驚きました。同時にある意味すごいと感じました。
<p>市長は新市庁舎の建設を功績と考え、借金の負担が最終的には市民に及んでくることに対し、全く考えていないと思う。市民から信頼される市長になってほしい。</p>
<p>本件の内容であれば、間接民主制の中で、知事・行政と議会にて判断すべきで、住民投票が必要とは考えていなかったため、また私自身が鳥取を離れ、新庁舎でのサービスを受けることがないため、投票は見送りました。(投票していた場合は、白票にしていると思います)</p>
<p>今回の住民投票では、鳥取市民の関心が以外に高かったと感じる。事前の盛り上がり低かったようなので、市長サイドの意向を覆せるほどの結果に至ったことに驚いた。今後は、市民も投票の意義を十分受け止め、市政に参加するという意識で見守る必要があると思う。</p>
<p>予算を有効に使ってもらいたい。</p>
<p>この度の庁舎整備の問題は、市長の独断となれ合い議員たちの横暴によるものです。このような大切な問題に市民を参加させることなく、一方的に庁舎移転を進めたことで、市民の怒りを買ったと考えます。新庁舎が改修かということではなく、市長と多数の議員への不信任の結果と考えられます。</p>
<p>今回の住民投票の結果は、市庁舎問題はもとより、竹内市政への反発も感じられた。</p>
<p>合併時、鳥取市は駅南庁舎を設置した。その後、市長から唐突に新築統合移転の話が出てきて戸惑いを感じた。なんとなく場当たり的で、しかも現在の市役所の位置を変える必然性もよく分からず、新築移転後の場所が地域の経済活性化につながるとは思えないし、きちんとした説明もされてなかった。</p>
<p>今回、このような調査に選んでいただき、ありがとうございます。とにかく今の市長と一部の市会議員は情けないし、日本全国、特に東日本の皆様にも、こんなときにこんな市役所の新築をめぐる問題が出るなんて、恥ずかしい限りです。鳥取市民にも、良識のある人が47,000人もいてくれて良かった。本来なら市長は辞めるべきではないでしょうか？駅前には訳の分からないシェルターを作るとか、駐車場を作るとか、本当にお金をよく使う市長。こんな市長はいりません。</p>
<p>今回、市庁舎整備の費用負担面だけが前面に出てしまい、移転の目的やメリット・デメリットなどが投票者にはほとんど理解されてなかったと思う。そのため、「費用負担が少ないにこしたことはない」という声が多くなったと思う。それは、市議会の力不足もあったと思うし、市当局も移転賛成が多いだらうと「タカをくっっていた」ように思えた。いずれにしても、不十分な情報で判断されたのは明らかであり、未経験だったとはいえ、今後には多くの課題を残したと思う。</p>
<p>現在のゴチャゴチャした役所に行く気にならない。新築移転すれば、交通の便、駐車場、その他鳥取市の顔としても願ってもなかったので、残念です。反対派の友人たちは、税金が上がることばかり言っていましたが、目先の事よりもっと大きく捉えてほしいと思った。公の建物などはデーンと立派な物が良いし、今のみじめたらしい市役所で良い仕事ができるのかと心配している。つぎはぎしてもそれだけのこと。選挙に行けなかった私が言うのもおかしいですが。</p>
<p>今回、住民投票で改築派が勝利して、心から安堵しています。鳥取市民の良識が証明されたと思います。そして、貴大学・研究室でこのような取り組みをなさったこと、大いに歓迎いたします。全国レベルで関心をもって見守ってくださっていたことを大変心強く感じております。</p>

<p>政治家(市議会・県議会)に何も期待していないため、興味がありません。 今の政治家は私利私欲の考えを持った人の集まりであり、公僕という考えを持った人がいない。 署名運動について、時々不信に思うことがあります。 私自身もいろいろな時に求められますが、場所が違うと同じ内容の署名に 二重三重に求められることがあります。すべての数に含まれるのか、不思議です。 各総合支所の今後の対応も含めた対策と、今後市民に与える税金の負担などを示して、 検討してほしいと思います。今回は耐震と新築の住民投票で終始した感があります。 移転派、耐震改修派、どちらも…。</p>
<p>・市議会としての議論をもっと深めていたら、住民投票は必要なかったのではないかと。 ・双方の情報が偏った意見で、広く内容を公開して、時間をかけて検討すべきであったと思う。 新築移転に賛成派も反対派も、表に出ている費用以上に実際はかかると思う。 自分たちに有利な情報しか出していないような気がする。 情報戦になり、新築案が悪いような言い方をされ続け残念。 新築派の中心は若者、改修派は老人…。そこには人脈の差があり、それがそのまま差になったと思う。 未来を本当に考えていたのはどちらでしょうか。</p>
<p>国でも地方でも、特定の企業や経済団体が政治を金で買うという行為がある。 本来、議員というものは国民・県民・市民の代表であり、特定の団体の意見に縛られることは あってはならない。 真に、日本の国が、我が県が、我が市が、どのようにあるべきかを公平な立場で考え、 討議するのが職務であることを忘れてはならないと思う。 今回の住民投票にも、これらのことが全うされていれば、何もこんなに延びることはなかったと思います。</p>
<p>国内各地で住民投票が行われていますが、今回の議案はごく一部の人の心で 行われたような気がします。 県の約半分の地域の市民を考えたレベルなのか？ 何故住民投票が行われなければならなかったのか？ 結果、(長期的に見て)どうだったのか？ 地域性なども含めて考察してください。将来の市民への教科書の1つとなることを期待します。</p>
<p>反対の人ほど投票に行ったと聞きました。賛成の人も多いと聞いたのですが、私自身も市の方の働きかけが あまり感じられなかった。大丈夫と思っていた人も多くが投票に行かなかったらう。 今回の市庁舎整備について、立場が違えば正しさが違ってくると思いました。 借金を子やその先までも残すのか。自分には子どもがいらないから、借金ができて知らない…とか。 今の自分にどのくらい必要で、どのくらいリスクがあるのかで考えるか。 それとも、先の時代まで考えて決めるのか。 投票の直前までいろいろ考えていたのに、いざ当日は自分の生活や仕事のトラブルで、 そちらにバタバタして、気がついたら投票日が終わってしまった。 そんな私の意見がお役に立つのかどうか、かなり心配です。申し訳ありません。</p>
<p>市庁舎整備に使用のお金があるのであれば、古くなった保育園などを先に整備してほしい。 子どもたちのためにも。大人は我慢できると思います。</p>
<p>私は仕事で現市役所へ行ったことがあります。 現市役所へ防災機器を取り付ける際、床に穴をあけると、深さ5cmで下の階の天井裏に貫通しました。 床面がアーチ状になっており、最も薄い箇所5cmしかありません。コンクリートもすかすかです。 耐震補強しても、柱だけの設計で床が崩れるのでは。 また、鳥取県庁は耐震工事が完了していますが、当初の作りから違い、何の参考にもならないでしょう。 仮に災害が起これば市役所が崩れると、災害対策・復旧ができなくなります。 市民生活を本気で考えてほしいです。</p>
<p>普段は県内の別市に滞在していることが多く、鳥取市の行政サービス、市長の業績は よく分からない状態で評価してしまっているかもしれません。「行政サービス」という枠も捉えづらかったです。 築40年も過ぎるとコンクリートも劣化します。耐震強度も弱くなった建物に手を加えるよりも、 合併特例債を活用して新築移転、せつかく広い土地があるのに残念です。 鳥取市の住民はもっと前向きに捉えて、目先のことでなく、将来につけを回さない方が良いと思う。 何事にも100%良いことはないわけで、新築にしたら駅南庁舎の後利用はどうする、 といった問題もあるが、さておいて、後ろ向きな発展性のない県民性を感じます。</p>
<p>市庁舎については、新築にならないと思いますが、旧市民病院跡地に他のハコ物ができないか心配です。 ハコ物により借金を増やすことはやめてほしい。</p>

<p>今回のことは、住民投票という結果で民意が反映されたと言われていますが、実際は市議会で決定されたことであり、情報が早くからPRされていれば、こんな大きな問題にはならなかったと思います。</p> <p>今回の結果は、市長に対する批判票だと言う人も多いです。</p> <p>真摯に受け止めて、これからの政策に生かしてほしいです。</p>
<p>単純に、どうせある程度の予算を使うなら…と、賛成にしました。結果は意外でした。</p> <p>しかし、選挙で決まったものなら、特に意義ありません。私の勉強不足だったのかもしれませんが、とにかく、税金やいろいろな負担が大きい。中流家庭のものが一番しんどいと感じるこの頃です。</p> <p>こんなことに、選挙に力を入れるなら、はっきり言って、福祉や子どものこと、本当に困っている人たちに、もっと意見を聞いてほしいです。</p>
<p>なぜ二案だけになったのか。</p> <p>二案に至るまでの経緯が市民全体に周知されていないことに問題があると感じる。</p>
<p>今回の住民投票で、市民が真剣に考えることができました。</p> <p>家族の中でもそれぞれが自分の意見を述べ、より市庁舎を身近に感じることができました。</p>
<p>・住民投票により、市長等の意見に住民は「NO」と言ったわけなので、市長およびその意見に賛成していた議員は、辞職するくらいの意気込みでいてほしかった。</p> <p>・住民投票前に配布された市からの広報および配布資料は、第三者的な立場で、それぞれのメリットやデメリットを公平に著したものでなければならなかったと考える。</p> <p>→結局、インターネットで自ら情報を得る時間が必要となりました。</p>
<p>① 駅南庁舎に集中する。近くに空き地あり。</p> <p>② 一般職員が多く、専門職が少なくサービスが低下している。</p> <p>合併後、旧市内に集中しているから、そのため無駄な庁舎が旧町村に残った形になっている。</p>
<p>今回の住民投票では、ツイッターやフェイスブックによる情報のやり取りがあった。今の段階では、これらの情報はある程度信頼できるが、政治活動等で積極的に使われるようになるかどうか？</p> <p>今後このSNSが、選挙など大衆の意思形成にどう関わっていくかを研究していただきたいし、見守りたい。</p> <p>2011年に鳥取へ引っ越してきました。</p>
<p>よって以前の鳥取について、また行政については詳しく把握できていないのが現状です。</p> <p>今回の回答に関して、ご参考にならない点が少々ございます。ご了承ください。よろしく願い致します。</p>
<p>今回の件とはあまり関係ないですが、竹内市長は早く代わってほしいです。</p> <p>駅裏の駐車場にローラースケート場を造ったりして、ほとんどの市民は利用しないのに、一部の若者のためだけに。よく分かりません。</p> <p>市立病院の中に、身内が経営する商店・コンビニがあるのも、僕たちから見ると何か変な感じがします。</p> <p>病院内の売店は売り上げが安定するので、開店したかった人は他にもいると思うけど…。</p> <p>変に勘繰ってしまいます。</p>
<p>旧市域の住民にとっては、100年を超えるであろう市役所の現位置を変えることに対する感情のほうで、市役所建物の耐震工事より強く、加えて移転新築工事費に係る起債の問題をどう扱うかということで、関心が寄せられたと考える。</p> <p>一方、旧町村域の住民にとっては、日常行くことのない市役所の位置が旧市部のどこになるかと関係のないことであって、むしろ建設費に伴う起債で負担(借金)をしなければならないので、その額は少ないほうが良いという考えであったと思われる。</p> <p>現庁舎を耐震強化するとしても、老朽化することを止めることはできない。</p> <p>20年、30年先には建て替え問題は必ず起こるであろう。</p> <p>そのときには、三洋電機は去り、産業の中核を失った市の人口は減少し、高齢化はますます進行しているであろう。</p> <p>市税収入は減って、合併特例債のような返済の大部分を国が負担する有利な現制度はなくなっており、建て替え費用の多くは、起債で賄わなければならない情勢になっていると推量する。</p> <p>あちこちに分散している市役所機能を維持する経費も積み上げれば、相当な額になるであろうと思われる。</p> <p>現庁舎の改築案を選んだ市民は、そのときになって、あの時市役所を一ヶ所にまとめて建て替えておけば良かったと気づくのであろうか。将来展望なく、あまりにも現住民の借金負担のみを重視したと言える現在地での改築案に多くの賛成が寄せられた。</p> <p>この結果を招いた市民は、20年、30年先の世代の人達に大きな責任を負わなければならない。</p> <p>新庁舎を見たいと思います。</p>

<p>新築移転反対派は署名運動etc積極的に行い、“動”の勢いが強かった。 当然、投票への取り組みも万全であり、投票前からある程度予測される結果であったと思う。 (賛成派の動きは、あまり感じられなかった。) いずれにしても、自分たちの地域について住民自らがもっと関心を持つことが大切である。 →防災etcにも通じる。人任せでは大変なことになる。</p>
<p>この調査で何が分かったか、知りたいです。住民投票は行われたが、本当に市民は理解しているのか？ 市や行政もしっかり説明できないことが、本当の問題であると思う。 自分の意志のなさ、言われたからやるという方法では、本当の住民投票にならない。 双方よく考えるべきである。</p>
<p>・今回、多くの税金が使用されました。しかし、投票率の低さは、関心のある人のみが多かったためだと思います。投票のための無料バスの利用者も少なく、1人あたり4万円になると地方新聞に書いてありました。(多くの旧町村の方は合併のため、町村の旧役場で用を足すことができるためです。) ・鳥取市議員も、質の低さが問題です。高額な月給制をやめ日給制にするべきだと、今回改めて思いました。</p>
<p>自分を持たないといけないのに、持てない日本。自由のようで自由でない日本。 これからどうなるのか、不安です。</p>
<p>私たち家族は40年、飲食店をやっています。 景気はどんどん悪くなる一方、本当にこれからどうなるのか、自分たちの生活のことで一杯です。 本当なら、私たちの生活に未来が見えるようにしてほしい。 新しい庁舎なんて考えるほど、心のゆとりはないのです。明るい未来が欲しい・・・。</p>
<p>市長および議会の資質に疑問を感じる。</p>
<p>今回のこの調査は、非常に有意義なものと思います。回答が遅れて申し訳ありません。 鳥取市は市庁舎の整備にかかる予算はなるべく少なくし、もっと目を向けなければならないことがたくさんあるように思います。例えば、旧市内中心部の空洞化等、有効な方法はあると思いますし、私も考えている方法もあります。(法的に有効かどうかわかりませんが) もっと市民の立場に立って、市政は動いてもらいたいものです。</p>
<p>偏った市議会と市長は全く評価できない。今回の住民投票に費やした税金と効果を公開すべきである。 税金を使うのではなく、活用し、費用対効果をしっかり見えるようにしてほしいですね。</p>
<p>全国的にも、市政に対する考え方、意見を持っている市民が多くいらっしゃると思います。 今回の調査によって、多くの自治体の市長が、自分たちのまちづくり、市政に関心と責任を持ち、参加できるようになればいいと思います。</p>
<p>新築を希望していたので残念な結果になってしまって、これからの鳥取市が心配です。 調査内容についての必要性がよく分からない面がありました。説明が足りない点を残念に思います。 現在の政治には全く期待が持てません。非常に残念です。</p>
<p>人は自分の立ち位置(立場)によって目線が違うと思う。 例えば、年収百万のレベルの目線と、500万のレベルの目線では、同じに見えるとは思えない。 今回の住民投票の「NO」は、市政と庶民の意識のズレをハッキリさせたのではないだろうか。</p>
<p>選挙の結果に関係なく、現在の政治(行政)は官僚主導と感じています。 その他、大企業優遇であることが、東京電力(原子力発電所)の問題からも感じます。 つまり、官僚と大企業が自分たちの利権を守るために、政治が行われていると思われれます。</p>
<p>市庁舎整備は、まだ新築することが住民投票で是非が確定していないのに、工事が始められていたり、疑問を抱かざるを得なかった。(調査者注:市庁舎整備に関する工事は始められていません。) 数年前は他市に住んでいて、鳥取市よりも人口が多かったが、市庁舎はそんなに贅沢なものではなかった。しかし、教育や行政サービスは、はるかに充実していた。竹内市政は問題が多いと思う。</p>
<p>今回は説明不足と思う。税金を使わないことはいいことだが、合併特例債で7割使えた。 耐震して延びても、いずれ建て替えが必要となる。その時は、市民の税金だけで建設することになる。 先のことを考えていない。子供たちにとって困ったことになったと思う。 中もボロボロで、使い勝手の悪い構造なのに。</p>
<p>東北の震災が起きた後で、急に降ってわいたように庁舎新築の話が出てきた。 震災に備えようとする心理につけ込むようで、気に入らない。 合併の時、駅南庁舎を購入した際にも、“窓口業務を一つに”と今回と同じようなことを言っていた。 たった数年前に大金を使って整備したのに、どうしてまた同じことをとと思う。 どうして、あの時、もっと慎重に耐震も含めて議論しなかったのか。 竹内市長のすることは、派手でお金を使うことばかり。全く市民のことを考えず、自分のPRのためだけだ。 太平線の芝生の件も、鳥取城復元も・・・もっと他に考えてほしい。 住民投票のための無料バスは、PR不足でも何でもなく、ただ考えが甘かっただけ。 投票する気がある人は、買い物ついでにイオンで投票したはず。 市民の大半は、初めから気づいていただろう。</p>

<p>住民投票については、この問題が言われ始めた当初から、新築移転に賛成でした。市町村合併以来、旧市部においても市役所の庁舎が散らばって、以前(合併前)のように1ヶ所の建物で用事が済まなくなりました。駐車場等の問題もあり、新築移転で1ヶ所の駐車場で用事が済めばと思いましたが、住民投票の結果、思惑通りでなく大変残念です。建築費だけに偏った結果に終わったようでしたが、旧市内と旧町村部、それぞれの考えが当初から異なっていたように思っています。耐震改修用の最低見積りが出来上がった時点で再投票をすると、また違った結果が出るのではと思っています。以上</p>
<p>建物にお金をかけるより、豊かな自然や農業・漁業の魅力をアップさせ、本当の豊かさを実感できる場所になるように、お金を使ってほしい。県外の大学に通い、就職も経験し住んでいたのだから、「東京的なもの」「都会的なもの」へのあこがれは自分もあるが、どちらが上か下かということもないし、本当に豊かな人間性というのは、少くらしい田舎のほうが高いなあと感じています。自然を壊さず人口が減らない方向へ、お金は有効に使ってほしいものです。</p>
<p>学歴を問うのはなぜでしょうか？ 年齢、居住地域を問うのはなぜでしょうか？ (調査者注：個人に関する情報に興味があるわけではなく、社会全体として、さまざまな階層ごとにどういう傾向があるのかを統計学的に知るために、国内外の多くの学術調査で尋ねています。)</p>
<p>鳥取市庁舎整備の投票のため、投票所まで無料のバスが出ていたことを最近知りました。告知不足か、新聞でバスを利用する方がほとんどいなかった、と叩かれてました。市長、議員選挙と違って、静かな当日でした。要は、その程度だったんでしょう。</p>
<p>議会の体を成していない。自分たちで決めることができないのなら、住民投票ではなく、解散して信を問うべきだ。市長、議員の覚悟がない。情けない。</p>
<p>行政で決められないものは、住民投票で行わないでほしい。市庁舎整備は増築？(耐震)で決まったが、年齢別や、どういう理由で、とかいう住民投票もあって良いかも・・・とも考えました。現在の日本が不安定すぎて、何を信じてよいか分かりません。一日でも早く、安心して暮らせる日本が来ることを期待します。ありがとうございました。</p>
<p>・住民投票はとても良いことだと思うが、小さな町なので、賛成か反対かの意見を口にしてしまうと、知人との関係が悪化するような気がして、怖い・・・と思うこともたびたびあった。 (私個人は、家族以外には口にできなかった) ・どんなことでも「反対！！」という運動は勢いがあり、正当化されやすいように感じる。今後、鳥取でも地震が起こるかもしれない。その時に本当に、今の庁舎で機能するのか？反対という人々は、50年持てば良いということ言うが、私の子供は50年後は50歳。その時、人口の減った鳥取にどれほどのお金があるのか。新庁舎は建てられるのか。被災地にお金を使うべきことは本当によく分かる。けれど、まずは自分たちの足元をしっかりと固めるということも、必要なのではないかと思う。どちらにせよ、小さな子供たちには、大きな大きな不安と負担を残す結果になってしまったと、今は感じている。</p>
<p>このたびは鳥取市住民投票について意識調査を行っていただき、鳥取市民として感謝しております。また調査対象者に選んでいただきましたこと、ありがとうございます。日頃から竹内市政には大変不満を持っておりませんが、市民の力は弱いものかと思っておりましたが、今回は市民5万人の力で住民投票を勝ち取り、5月20日は市民の良心が勝ちました。市議会議員さんのお力も大きく、これからが真のスタートだと思っております。この意識調査の結果を楽しみにしております。本当にありがとうございました。</p>
<p>国(政府)は定年制を設けるべきだと思うし、比例区とかなくして今より半分の人数にしてほしい。議会があるときは、それぞれの県から議員を1人ずつ出席させる方がいいと思います。党を離党する人は一度国会議員を辞めて出直すこと。無意味な人は減らして、余分なお金は出さないほうが良いと思う。県議や市議にしてもそう。何をしてるか全然見えない。人を引きずりおろすことしか頭にないみたいで、子供のケンカよりひどいと思います。国民のことを本当にどれぐらいの人が考えてくれているか、もっともっと考えてほしいものです。</p>
<p>住民投票の結果で、市長が改築のほうに転換したことに少々驚いた。長い目で見ると、移転のほうが良かったので頑張ってたかった。</p>

<旧町村部>

<p>この選挙では問題の本質を考える前に、何か異様なものを感じた。 以前、「郵政あるやなしや」と言って自民党が圧勝した時のようだった。 本当に何が大事でどうあったほうが良いかを、もっと時間をかけて私たちに分かるようにしてほしかった。 今もすっきりした気分ではないのは何故なのでしょう・・・。</p>
<p>今回の住民投票、ややもすれば行政サイドで強引に実施されようとする政策が、 住民の声によって民意を中心に実施していただける良い結果でした。 今後どの県、どの地区でも、このような住民が主体となる意見の出し場所が増えていくことを願います。 今の国会も、国民の声をもとに変えることが出来ればと思います。民主と言っても民が主でなく、 自分が主になって自主になっている。国民はなおざりですネ！ 国民は皆泣いている。国が滅びる！</p>
<p>私の考えですが、今の人の何人かは、選挙なんかあまり関心を持たない人が多いと思います。 これから私達が生きていくためには、選挙は大切だと思います。時々耳にするんですが、 今の政治は誰がなってもダメだと、よく聞くことがあります。でも、これからは若い人が助け合い、 みんなで協力していかなければならないと思います。若い人も、年を取った人も。</p>
<p>鳥取市(長)の今回の計画はプロセスがでたらめである。随分、無駄な税金を使ってくれるものだと 呆れたのは、私だけではないことは確かである。日本全国に恥をさらしたようなものだ！</p>
<p>市長、多数派を形成する議会による強引な政策をチェックできたことは、今後の市政展開に好影響が 出ると思います。住民側も、“長いものにも巻かれぬ”という機運が生まれてくることでしょう。</p>
<p>市民が選出した議員として、しっかり役割を認識したうえで仕事をしてほしい。 今回の件で、議会に対する信頼がなくなってしまい、残念に思う。 耐震改修を主張してきた議員が、勝利したことに関し、公約どおり21億円で事業を実施できるのか、 責任を持って市民に説明してほしい。市民の安全安心が確保できることを願っています。</p>
<p>今回の住民投票は、移転によって住民の負担が増える(増えない)点が論争の焦点となったが、 それは表面上のことで、内面は現在の建設位置を手放したくないということにあったのではなからうか。 それは自分も同じであるが、例えば、国の史跡内にある高校の移転問題が遅々として進まぬのも、 根は一つと思われる。悪い意味で、因幡人の旧弊である。 自分の正直な気持ちは、住民投票までする必要があったらうかという疑問である。</p>
<p>日本という国が、これほどまでに大きな借金があるのに、お金をなるべく使わないようにとか、 政治家とか公務員のボーナスなし、給料カット(5%)とか、日本の国債か、よう分からんが、 利息なしとか、3分の1にするとか、しないとダメだろうが・・・こちとらボーナスなし、給料カットで 10年以上、もっとかな？ お金はないぞ～。お金がないのに借金しまくって、どうするんだよ。 もっと考えろよな～。おかしいだろうがよ～。</p>
<p>補助金も国民の税金です。国への依存度を下げる意見が少しも出ないのは疑問。 県知事のように中央へ目を向けて行動してほしい。</p>
<p>反対票を入れたのは、市長を嫌いな方だと分析する。 市庁舎整備でなく、アンチ市長の投票だった。今回の結果は残念。</p>
<p>道路、建物に何十億も税金を使うのは、もう止めてほしい。人材育成してほしい。ソフト面を充実してほしい。 青谷町の市立図書館なんて、古い本ばかり。小学生もたくさん来てるのに。本を総入れ替えしたって、 市庁舎ほどはかからないはず。一体いつの時代よ、っていうような本ばかり。</p>
<p>選挙権を80歳以上は無しにしてはダメだろうか。 子供は18歳で権利を得て、年寄りには80歳で権利をなくす。 政治が年寄りの票ばかり気にするのはどうかと思います。若者が出ていかない鳥取市になってほしい。</p>
<p>3. 11以降、メディア、政府を信じられなくなった。 霞が関の官僚が、日本社会を動かしているように思うようになった。民意を反映させない 社会を作ってしまったようだ。官僚(エリート)から見れば、国民はバカだから・・・なのだろう。</p>
<p>今回の選挙は結果がどうであれ、新築移転だとのウワサがありました。 市長が断念したとは言え、まだまだどうなるやら・・・という気持ちです。 だいたい鳥取は保守的な土地だし、変だと思っても声を大にして言わないところ。 そのうち焼却炉問題も、河原にお願いするってことで落ち着かされるんでしょうね。 20万都市とうたいつつ、年々人口減なのに、新築移転なんてよく言ったもんだと思いますよ。</p>

<p>今回の市民投票では、新庁舎建築に反対する人たちが必死になって4万票を入れたが、有権者15万人のうち多くの方は、いずれ新築が必要なことは分かっており、あそこまで強く反対する人たちに遠慮して、投票に行かなかった。結果は「新築移転」ならず、であったが、あと10年もすれば今度は「老朽化問題」で新築することになる。反対派の人達は60歳～80歳の年寄りばかりであり、次の「老朽化対策」では新築案が勝つと思う。今回の耐震改修案はとてもしいかげんなものであり、鳥取駅前開発計画を含めて考えれば、新築移転案は多数の支持があったと思う。私の周辺は皆賛成していたが、反対派の必死さに比べて投票意欲が弱かっただけの結果です。</p>
<p>議会で決めるべきで、いちいち住民投票で、直接住民の意見を聞くことに不満である。現本庁舎の改修増築をしても、30年もすればまた同じような問題となる。住民投票の署名活動にしても、知らない人が来れば断れるものを、地区の顔見知りがあるので、反対しにくく署名をしたが、このことは投票結果にも表れていて、新築移転反対票が署名票より少なかった。この住民投票の経費5000万円は何なのか。捨てたようなものだ。</p>
<p>借金が増えるだけなのに、考えてお金を使うべきだ。今回の結果については、新築移転を若干望んでいました。理由は、鳥取市の経済活性化につながるものだと考えられるからです。また、旧庁舎の耐震補強工事だけでは、近い将来補修工事が生じることが新築より多くなるとわれ、結果的に市民の負担につながるものだと考えられるからです。</p>
<p>市の説明会では新築統合の良いところばかりで、耐震改修の悪いところばかりしか言わなかったように思う。今の財政、経済情勢から見て当分、よくなることはまずありえない。消費税も上がり、ますます負担が多くなるだけで、我々住民の収入は減る一方です。新築で喜ぶのは市職員と、議員と、国のお偉方ばかりで、我々は苦しむばかりで何も良いところはありません。便利になるのは自分達ばかりで、お役所に用事があって行っても、合併前の役場みたいによく知った人がいるわけではなく、気軽に行く気になれません。住民と行政は、もっと身近な関係にならないと何も良くならないと思います。</p>
<p>直接請求があってからの議会の対応が遅すぎ。今回の住民投票では、市長は中立的立場を保つべきと思ったが、新築移転に賛成の発言は慎むべきだと思う。</p>
<p>最初から、新庁舎にするとのことで動いていたように思われる。場所をどこにするのか等のみ声を上げていたように思う。最初から、予算等くわしく内容を市民に広報し進めていくべきでなかったかと思われる。変だ変だと思いつながりの進行であったので、もう少し自分自身の反省として、関心を持つべきであったと思う。市民一人一人に対し、まず説明をしてから進めるべきでなかったのではと思われる。</p>
<p>本来は市議会において決定すべき案件であるのに、住民投票にて市民の答えを得ることは、議員として無責任です。また今回の住民投票にかかる費用も、かなり使ったと思います。まさに鳥取市は、公金の無駄づかいをしたとしか思えません。</p>
<p>市庁舎整備問題は住民投票でなく、市議会(市長)で決定しても良かった。議員は市民の代表であり、住民投票は議員の職務放棄に近いのでは…。もう少し市長の強い意思表示をしてほしかった。</p>
<p>合併後の今となつては、交通(JR、バス)の便利の良い場所が良い。現存の市民会館は駐車場もなく、利用数も少ないので、庁舎が移転すれば駐車場となると聞いていたが、今以上に利用率が悪いのでは？ 私たち高齢者は車の運転ができなくなるし、現支所も今以上に整理されるであろう。旧町村住民に対する様々な気配りが欲しい。</p>
<p>みんな、色々な考え方があり、それぞれの意見を言い合えることは、とてもいいことだと思います。</p>
<p>問題点 ・市長と市議会のなれ合い体質。(市民感覚とのズレ) ・市政、各議員の情報発信力の低さ。 ※行政のムダ、補助金にチェック機能が無く垂れ流し、高齢者へのあまりの厚遇など、税金をもっと若い世代や子供に向けてべきだと思う。</p>
<p>いろいろな選挙や住民投票などにおいて、一番何が言いたいかわからないことが多い。今回の住民投票に行き思ったのが、反対という選択肢が無く、少し拍子抜けした。</p>
<p>住民投票する必要があったかどうか？ 市議会で決めてほしかった。</p>
<p>まず最初のスタートが、新築ありきで一方向的にスタートしたことがまずかった。現市長のやり方は理解できない。すでに建設会社まで決まっているような感じで、新築移転のビラ等、そういう会社から動員されたような人達が配布していたので、余計におかしいと思い、反感を持った。</p>

<p>市の名前とか、あまり知識が無くても良いものは住民投票で決めても良いが、財政や将来のことは不向きかなと、今回の投票で思った。 市長の好き・嫌いで選んだ人もいて、出た結果は本当の意見とは言えないのでは、とも思った。</p>
<p>鳥取市役所より、旧国府町役場のほうがかなり古い建物なので、 どうして先に旧国府町役場の新築をしないのか、というところが納得いかない。</p>
<p>根本的に市庁舎の問題が今、一番大切なことだったのかと考える。 竹内市長がやりたかったことだけではないか・・・。 しかし、金を使うとなれば、新築の考えもあるのではないのでしょうか。 合併後、鳥取市の端に住む住人にとっては、メリットはありません。以上</p>
<p>合併後、役場ほか行政施設および職員が余剰しているにもかかわらず、 再利用および人員整理が上手に行われていない。 かつ青谷町は市の最西端に位置していると同時に、ほとんどインフラ整備が行われていない。 特にIT、ブロードバンド時代になっているにもかかわらず、青谷町には未だADSLしかない。 そういう不平等な部分にまず力を入れてもらいたい。</p>
<p>市町村合併してから、行政が遠くなりました。総合支所の人員は減り、知らない人ばかりです。 道路改修等依頼すれば、「金が無い」の一点張りです。全く市の必要性を感じません。 地震があっても庁舎がなくなっても、県庁があるから大丈夫です。 それよりも旧町村は、限界集落で高齢者ばかりです。 今回の住民投票にしても、歩いて1km以上の道を、高齢者がどうして投票に行きますか。 ちょうど梨の袋掛けで多忙の時、私の周りでも多くの人が投票に行っておりません。 今回の賛成派と反対派にしても、お互いの損得が見え見えです。 したがって、将来増税となる可能性のある新庁舎建築に反対投票しました。</p>
<p>①設問内容があまりにも鳥取市の現状と離れていて、参考にはいけない。もっと現地重視！ ②設問の方法が戸惑いを感じる。設問の内容があまりにも悪い。 ③この必要経費自体が無駄だと思う内容です。もったいない。 ④でも、大切なことかもしれません。</p>
<p>市議会で投票条例案が否決されたことで、逆に住民全体に、 議員に対する不信感ともども、危機感が生まれたように思います。</p>
<p>全国でも初の住民投票が行われた点において、閉塞された日本を開くという点においては、 歴史に残ることであったことは事実である。 政治に対する期待より失望のほうが多い中、全国でも住民投票をたくさんやれば、政治にいいかげんな 人間を議員にしなくてもよい風習ができるようになる。これは本当の改革の第一歩だと思う。</p>
<p>市長派対反市長派の政争で、本当に鳥取市の将来を見据えての論争ではないと思える。 住民投票の経費5700万と聞いているが、住民投票しないほうが経費がいらなかったと思いました。 国会がなかなか大変で総理大臣が気の毒です。早期に色々決まるようにならないのかと思います。 国会議員ももう少し考えていただきたい。</p>
<p>この庁舎問題は、当初から合併特例債ありきの行政の進め方が良くなかった。 もっと説明責任を持って、合併特例債による庁舎の建設が将来にわたり、市民にとって 有利であることを周知してほしかった。そうすれば結果は変わっていたかもしれないと思う。</p>
<p>※反対派署名者のほとんどは勧誘されて署名した程度で、 本当の中身はほとんど知らない人が多かった。 ※合併後月2回、本庁に会議に出たが、1階から6階まで階段の位置が定まってなく、 時々迷ったことがある。トイレも同様。また、あんな狭いところで住民との懇談等 住民サービスは出来るわけがないと思った。 ※自分は地域のために何が出来るかが大事で、行政をまるまる頼ってはいけない。 ※市議会議員は、旧各町村1名ずつは置いたほうが良いと思う。</p>
<p>意識調査が来てビックリしましたが、この調査(私の答え、意見)が 今後の日本の政治などに役に立つのでしょうか？ 私は、今の日本の政治にすごく不満、不安があるので、日本国民であることを すごく恥ずかしく思っているの、政治関係のテレビを見たり、 国会中継など(選挙など)を見たり聞いたりすると、すごく腹立たしく感じます。 仕事先が鳥取市中心部ですが、あまりにも手が行き届いてなく、行政は何をしているのか！！と 思ったり、県議会や市議会へ昔に仕事の関係でよく行っていたのですが、寝ていたり、途中で席を 立ってタバコを吸っていたりなど議員の方たちがしていたので、もう選挙に私は行く気ははっきり言って ありません。もう少し、一人一人意識が変わればと思いますが・・・。国の税金が給料なのでから。 私達が払っている税金を何だと思っているんだ！と私は思います。</p>

鳥取市役所の位置は、現在地でも、また旧市立病院跡地でも、15mの津波では5Fまで位は水没します。
すべてのことに、人に頼らない政治をしてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・住民投票で自分の意見を反映できたことは非常にうれしい。 ・特に一ヶ所に新築移転しなくても困らない。 ・駅南庁舎は、まだ数年しかたっていない借金もある。 ・子・孫の代まで借金を残さない経営をすることは大事である。 ・各総合支所で充分である。 ・必要な時に必要な庁舎へ行けば良いので、ムダなことは避けるべきだ。 ・もっと必要な問題へ予算を回すべきだ。
日々介護と仕事に追われ、説明会に参加することもなく、いかに情報を公平に、正しく事実を把握するか、自分自身に問う機会になった住民投票でした。“住民の1人”という自覚が高まる機会にもなり、市政への関心が高まる機会にもなりました。
実際のところ私が利用しているのは、ほとんどが旧町村役場なので関心が薄かった。
なぜ、わざわざ高い金を使って住民投票する必要があったのか。する必要なし。新築に反対する者が多く、新築の必然性(古過ぎて危ないなど)がない以上、市長は新築をあきらめるべきだった。
住民の直接投票により、市政の問題を解決しなければならなかった。議会、行政の対応に憤りを感じる。政治は対立する意見を調整することが、その機能の最たるものであるのに、その能力がないことを証明してしまった。
主権者は決して万能ではないし、賢いわけでもない。これからの鳥取市の運営を危惧する。
<ul style="list-style-type: none"> ・本庁舎を特例債で建てても、借金が残るだけです。もったいないという市民の声を無視した行政です。その行政に対して反対できない市議会も、もっと情けない。無くてよい市議会です。 ・鳥取市(旧市内)ばかり中心の政治、行政になり、旧町村の住民は置き去りです。選挙のためには仕方ないのですが、合併以前のように旧町民のための行政に戻ってほしいと思います。
説明会等にもっと出席して、理解してから投票したほうが良かったと思う。
市は最初から新築のみ進める予定で、住民に知らされた時は、ほとんど新築で話が進んでいることに驚いた。住民へのアンケートは新築ありきの偏ったアンケートだったのにも、すごく違和感を感じ、市政に不信感を感じました。
5万人以上の署名があったのに議会で否決され、すったもんだの挙げ句、今回の住民投票になったのにも、議会に失望しました。もっと、議員さんはしっかりしてほしいと思います。
合併後、旧町村には何も行政の目が届かない感じが強くなります。
市中心地のみ力を入れる竹内市長の姿勢は、とても不満です。
市長、市議は直接選挙で選んでいるので、住民の民意を反映しているので、住民投票で改めて民意を問うことに疑問を感じる。市議会の意味がない。
今回の住民投票は、民意を問うという本来の意から、政治色の強い運動に変わっていったように感じる。
前回の市長選で敗れた方の選挙活動をしていた人たちが、改修のほうの活動をしているのを見ると、しらけてしまった。
市長が一方的に新築移転を決めようとしていたので、今回の住民投票は良かったと思う。
現市庁舎では、災害の時拠点にならない。もっと郊外のほうが良い。鳥取自動車道の出入り口付近が良い。青谷方面からも(山陰道)、また国府町、福部からも、佐治、用瀬、河原も交通の便が非常によく、地価も安い。現在の市の施設用地を売却し、その代金を財源にすれば良いと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・住民投票を実施する前には、両者ともビジョン等(メリット、デメリット含む)を公表すること。情報不足であった。 ・若い人が投票することが必要。高齢者だけの投票では、20～30年後の鳥取市には意味がない。(耐震派は高齢者中心であり、未来が見えない点もあった。) ・新築派は、もっと跡地整備や旧町民のことも考えるべき。新庁舎が出来るだけで何かいいことが生まれるように思える。 ・今回の住民投票を国政等にも影響させてもらいたい。今の政治家は、特に国会議員はやるべきことをやっていない。 ・地方が疲弊すれば、国家は滅ぶこととなる。大切にしてもらいたい。 ・中央大学等、都会の大学は地方の大学と連携し、地方のことをもっと理解すべきである。してもらいたい。
学校とか病院は耐震補強でやっているのに、なぜ市庁舎を新築しようとするか。耐震補強で充分だ!

<p>突然届きましたので、少々びっくりしています。 今年では主人が区長をしていますので、少しは行政の内側を見ることが出来ますが、それでなければ、本庁・支所と関わりを持つことは皆無です。本庁まで出かけていくことは大変なので、この地においても本庁と同様にサービスを受けられるように、支所の充実が図られるといいなと思います。市の職員の方々は、尋ねて来られた方は“お客様”である(言い過ぎかもしれませんが・・・)と 思っていたきたいと思います。</p>
<p>市庁舎整備も良いが、郡部の小中学校の校舎の整備のほうを先にすべきだと思います。</p>
<p>少数反対の人々の、何が何でも反対運動によって、人々の意見を正しいと思わせることは、不愉快である。これは今の国の政治にも言える。お金の無駄使いだから、には人は弱い。</p>
<p>選挙のたびに演説をしているが、当選した後に公約を実行している人は少ないのではないかと思う。</p>
<p>各総合支所を使用する。</p>
<p>私達にとっては支所があれば充分ですし、新築によりお金をかけるのは、 市民への負担が増えることになると思います。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・住民投票と言っても投票率の問題もあり、全ての市民の声が反映されているとは言えない。 ・広報などで一般市民が、両方の案についての長所、短所を深く理解することは困難であると思う。 ・市議会が新しいまちづくり等深く検討して、議会で決定したほうが良い。
<p>住民投票の実施ではなく、もう少し議会で話し合っただけで済んだ。結果的に市長は住民投票に従うこととなりましたが、鳥取市の将来について考えると、目先の経費にとらわれてはいけないと思います。</p>
<p>新築・・・と思いましたが、今は(東北のこともあり)支出を抑えるべき時と思う。 国全体、豊かな時代だったら、新築も経済発展(地方発展)のため良かったのだが・・・。</p>
<p>本庁舎を新築移転する前に、合併した旧郡部の支庁舎が随分と無駄になっているように思われます。 人員も少なくなっているのに、だだっ広いところに職員が分散しています。 もう少し有効活用できるように、住民に意見を聞いてほしいと思います。</p>
<p>私は、政治について詳しくありません。成人して1年目であり、投票の権利を得てから政治に目を向けるようになったからです。未だ、政治についてよく理解してなく、支持している党も定かでない中、適当に投票してしまうよりは、他の人の票で解決をと、安易に考えている自分がいます。 現状では、今回の住民投票は前日に知り、また、そのような活動などがあったことも、このアンケートで知りました。全く興味がないわけではなく、アンケートを読んで、今興味を持つくらいです。このような私の回答でお力になれるのであれば幸いです。。。</p>
<p>署名活動について一言。 親戚、友人、知人等に署名を求められれば、自分の意に反していても署名してしまう。 そういったケースは多々あると思うので、必ずしも署名した数が正確だとは限らないと思います。</p>
<p>私は青谷町に住み、現在まで鳥取市内より政策等が遅れがちのように見えています。 勉強不足ですが、もっとわかりやすく連絡が必要と思います。 老人より</p>
<p>このようなりサーチは大変良いことだと思います。いつでも協力します。 住民投票に力を加えるバイタリティーがあるなら、鳥取県や鳥取市は観光立県、立市なので、積極的に観光に力を注いでほしい。特に鳥取市は消極的すぎます。</p>
<p>最後まで迷ったが、最初の考えを優先させ判断した。我が身、我が家に置き換えた、 スケールの小さな判断になった点を反省している。大局を見れば、反対の考えだったような気がする。</p>
<p>今年(※2012年)の2月頃、市と市長に質問を投げかけた。 ①市長の話では、市役所の建築は地元の業者が潤うとのこと。これに対して、 高層建築では大手ゼネコンしか受注できないのでは(と質問した。) ②新庁舎は便利で快適である、との話であったが、利用者は市中の一部の人達で、 旧郡部の人達は各支所で通常の利用は可能である。私自身、市役所に行ったことはない。 (旧郡部の員数は教えてもらえなかった) また、建設の話が出る前は財政状況は良くないと言いながら、一転問題ないと言い出した、 等々具合の悪い話は全て隠す市長と市の姿勢が見て取れた。</p>
<p>元来私は、どちらでも良かったのです。しかし市長、市議会の態度が権威的で、 公平を欠くことおびただしく、新築に反対しました。 また、新市役所重点主義でなく、総合支所と有機的につながることを、これからのあり方だと思います。</p>

<p>私はあまり、県が何をしているのか、市が何をしているのか、よく分からないが、何らかの会等が開催されていても、知らなかったりすることが多いので、鳥取市は何につけてもPR等が下手だと思う。また、個人としては、大きな建物を造る(耐震は仕方ないとして)等、新しいことをする前に、例えば、小学校の電球を〇個以上切れないと交換しない等のほうを改善してほしい。鳥取市は特に、県内でも雪がひどいので、雪かきをちゃんとしてほしい(電話して、かいてもらうなど今年はしました。)。家の前に雪をかいたものを置き去るなど、道路の中央に平気で置くなど、とりあえず、市民の身近な問題に取り組んでほしいと思う。</p> <p>あと、市長が何をして結果を出しているのか分からない。</p>
<p>6月に鳥取から転居する予定だったので、今回の住民投票には参加しないようにしておりました。出て行く人に投票の権利はなく、鳥取市の今後に関わる投票に参加すべきでないという思いからです。結果に関して、あまり放送にて知ることができなかったのが残念ではありますが、今後の鳥取への期待を行政に求めることは、難しいことなのでしょうか？ 悩むところです。</p>
<p>大阪から移住して2年半、地方の生ぬるさをつくづく感じます。これが田舎のいいところ？ 地方には地方なりの、地域の特性を生かしたやり方がもっとあるのでは、と感じます。特に鳥取県は、島根や岡山に比べ、かなり遅れてるように思います。</p>
<p>市庁舎新築が決まっていたのに、反対の署名運動の反撃にあって、住民投票ということになってしまった。ムダなお金が消えたと思う。市長に自信を持って、信念を貫いてほしかった。</p>
<p>住民投票になる前に、合併特例債の意味。一人一人の住民によく分かるように、細かい説明があったほうが、投票の重要性と一票の重みを感じられたと思う。</p>
<p>思うに、今回の住民投票は、大震災や原発事故であったり、国の借金が1000兆円を超えてきたりして、経費に対する住民意識が、より高額な新築移転案(派)にとっては、最初から不利な状況であったと思う。</p> <p>そして耐震改修派は、このような社会状況をもとにして、「ムード作り」と「組織建て」をうまく推進したことで、得票率において、新築移転派より高くなり勝利したと思われる。住民投票あるいは選挙においては、「ムード作り」と「組織建て」が、いかに重要であるかということであろう。</p> <p>私は別の観点から、新築反対なのか、移転反対なのか、あるいは両方なのか、はっきりさせる意味において、今回のアンケートの中に、</p> <p>①同程度の費用の場合どちらに投票しますか？</p> <p>②駅南移転ではなくて、現在の場所の隣に空き地があった場合は、どちらに投票しますか？</p> <p>という項目を入れてほしく思いました。</p> <p>それによって、より深い住民意識の問題が見えてくる気がいたします。</p>
<p>住民投票は、ある程度住民の意思が反映できると思うから、いい方法だと思います。</p> <p>建て替えが認められず残念です。</p>
<p>多くのお金を使って、市長は責任はないのか。</p>
<p>三期目選挙では一言も触れなかった庁舎問題なのに、当選後すぐに新築を言い始め、やり方が汚い。当然、市民の意向を確認すべきであった。</p> <p>自分が強引に進めた新築案が否定されたなら、当然身を引くべきだ。</p>
<p>この件について、まだまだ20年は使える建物を、多額な借金をしてまで新築をする必要はないように思います。子供たちは少なくなり、若い人たちは県外で就職し(県内では、職があっても生活していけない)、今以上に生活は苦しくなってくると思います。これを受け継いでいかなければならない若い人達に、もっと真剣になって頑張してほしいと願っております。</p>
<p>権力は腐敗する。絶対的権力は、絶対的に腐敗する。</p>
<p>鳥取市庁舎の新築、改築どちらも、費用の試算を見る機会が無かった。</p>
<p>税金の使い方を考えてほしいと思います。</p> <p>社会保障の充実、憲法25条を守り、生かすことが大切だと思っています。</p> <p>行政はもっと住民の生活をしっかり見て、何が必要なか真剣に考えていただきたいと思います。</p>
<p>鳥取市だけで災害対策はできるはずもなく、全市長や国会代表の(総理または担当者)で日本列島の実情を知りあい、実施すべきである。市民の前に国民である。</p>
<p>住民投票をするまでに至ってしまった鳥取市に対して、市民の一人として恥ずかしさとむなしさを感じています。マスコミの無責任な報道に簡単にだまされ、無意味な行政に対する攻撃や反対ばかりする市であり、県になっているのが鳥取だと思います。</p> <p>今回の市役所の件は、今までの権利(市職員への駐車場や土地の賃借)を守ろうとする、ごく一部住民の意見と無為にマスコミに流された市民の、行政に対する「八つ当たり」が生んだものと考えます。今回の件、決して良いことではないです。</p> <p>他の市町村で同様の議会・行政軽視の動きがないことを祈ります。</p>

<p>今回の住民投票では耐震改修と判断されたが、投票した方は本当にこれで良いと判断し投票したのだろうか。詳しい数字など、判断するうえで材料がなかったのでは。近い将来には、私は今でも、新しく建てたほうが良いと思っている。</p> <p>とにかく鳥取は変わらなくては。ムダという面では、市庁舎内の職員の多さ。それだけの仕事があるのか？ 人件費のスリム化が必要。一度、庁舎内の人の多さを見てみては。変なことを言って申し訳ございません。</p>
<p>住民はめげず、くじけず、投票権を神・仏に感謝し、確と選ぶのみ也。</p>
<p>住民投票をするのでしたら、PR活動を積極的にしてもらいたい。</p> <p>今回の投票は、意味のある投票だったのか疑問に感じた。</p> <p>旧町村部では、市庁舎整備に関心が持てていないと感じた。投票率を確認すると思ったことだが。</p>
<p>市議会の議員、議会の権威・主体性に疑問を持った。</p>
<p>新庁舎建設ありきで、市民にとっては突然出てきたような話で、途中経過の説明が不十分で、寝耳に水のような話だった。嫌悪感さえ覚えた。</p> <p>とにかく反対にしても、新築にしても、具体的にどのようにするのか、また新築しても、現在の跡地利用の具体的な話が発展していない。ただ新築ありきが前面に出た感がある。</p> <p>人口も税金も減少する中、現在の駅南庁舎の借金も済んでいないとか聞いた時、あきれた。</p> <p>一部の人たちの中で市政が廻ってると感じた。議会を解散して、民意を問うべきだ。そのほうがすっきりするし、反対、賛成にしてもいろんな具体的な意見が出て、市政について発展的、建設的、より良い政策が出てくると思う。議員は自分の議席を失うのが怖いものだから、そこまでしない。ひきょうだ！</p> <p>大体、庁舎について住民投票するなどもってのほか。。。もって議員は、そこに至るまでに市民によく説明して、より良い建設的な政策をしてほしい。</p> <p>ある意味で、若桜街道商店街と駅前商店街のエゴの戦いのように、郡部の者には映っている。</p> <p>これから市政は、この件で二分され、混沌とした市政になることを憂えます。</p>
<p>議会で21年度に出した時に、早くするべきであった。時間が掛かったので、住民投票になった。</p> <p>投票に使われた金額は多額だが、どう思うか？ 鳥取市議員がだめ。</p>
<p>合併特例債についての説明が不十分だったと思います。</p> <p>テレビでも、チラシ等でも、国から出していただいてもどうせ税金で返すもの、と思っていた人が多く、残念でした。</p>
<p>どうしても投票する人は、耐震改修が多いと思う。新築を希望する人は投票しなくても、と思う。</p> <p>これまでも赤字だ、金が無いなどと言っても、素晴らしい病院、小学校、中学校が知らない間に建っていますが、納得いかないです。</p>
<p>今回の市庁舎問題については、旧市民の方々に、旧郡部の住民の不便さ(今後さらに予測される支所の先々のこと)を予測しようという思いは無さそうでした。有効署名数の割合から予測しても結果は読めていましたので、投票に行く気がしませんでした。この年になって、選挙をしなかったのは初めてです。</p> <p>市庁舎が7ヶ所に分散しているようなことは、高齢者の先々が思いやられます。</p> <p>市長のやり方にも、議員の無能さにも嫌気がさしています。</p>
<ol style="list-style-type: none"> 1. この住民投票の背景には、鳥取市長の独断性があります。一つの地に本庁を求める考えは良いですが、慣らし運転の無さが問題を起こしたと思います。 2. 市議会の態度があいまいで、市議会議員の資質が問題です。地方行政と言いますが、それに対応した人材が地元に残っているでしょうか。 3. 気高町の場合、課外は警備員が留守を守っています。国道に面する市町村は、何が起るかわかりません。緊急時の対応ができるでしょうか。 4. 防災無線が各戸についています。故障の場合(電池交換必要)、支所の職員は、機械を支所に持ってきて、その後判断しますという回答を当然のように言います(災害無線は市の財産)。 <p>支所長に正しても同じ回答です。以上</p>
<p>人口が増加し、豊かな日本になってほしいです。都会と地方の差がありすぎると思います。</p> <p>高速道路を早く造ってほしいです。</p>
<p>住民投票を安易に行うべきではない。議会は何をしているのか。</p>
<p>国道53号線で、鳥取駅周辺は鳥取市の玄関と言っても過言ではありません。</p> <p>市庁舎新築により、鳥取駅周辺が活気を帯び、人の往来でにぎわうイメージを想像していました。</p> <p>東北の大震災で日本全体が冷え切っている時期ですので、仕方ありません。残念です。</p>
<p>各支所の耐震化は、実現するの？</p>

<p>情報公開を積極的に行うということだが、いつでも誰でもどこでも、即時に公開されない。 説明責任もあいまい。経過説明もない。結果論のみの情報公開である。 広報、HP、公告、広告、新聞、TV、ラジオ、週刊誌、市政提案箱、地域との住民懇話会があるが、一人の住民が全て目を通し、聞いたりはしない。新聞すら一家庭に一紙。情報がなかなか住民に届かない。 議会、審議会、各種委員会のメンバーには情報が早く伝わる。パブリックコメント不足。 今後は是々非々で、直接民主政治型、住民参加型が多くなるほうが良いと思う。</p>
<p>今の日本の現状、自然災害も多く、そんな中、旧市立病院跡地への新築移転など、賛成はできません。 国のお金をもっと今、必要とされる順に使っていただきたい。</p>
<p>私は建設業に携わっているものです。今の建設業の単価では、まともな仕事はできません。 特に鳥取市の場合は。だから投票に行きませんでした。 財源もないのに新庁舎など、もつてのほかだと思えます。特に鳥取で働く意欲もないし、 耐震補強とか特に、手間ばっかり食って仕事にならない。安価なため、やるだけ損をする仕事です。 そのため、自分は県外で仕事をしています。鳥取県等に望むことは全くないです。</p>
<p>鳥取市の将来は高齢化していると考えられるので、新庁舎は財政面から見ても無理があると思う。</p>
<p>今、日本が苦しい時です。私たちはまだ幸せな方かもしれませんが、生活が苦しいのは事実です。 こういう調査で、いろんな層からの意見を聞いていただけるとは、有意義なことだと思います。</p>
<p>箱物が好きな市長であることは、選挙の時から分かっていたはず。 新庁舎が駅に近いほうが便利が良いとアンケートに答えたのも、鳥取市民。 耐震改修しても、近い将来建て替えなければならないのならば、 新築したほうが適切ではないだろうか？ 反対派に踊らされただけではないのか？</p>
<p>特に意見はないが、このアンケートは特に意味をなさないと感じます。</p>
<p>市庁舎については、整備する必要性はないと判断しております。 市民へのサービスをより考えるなら、各総合支所の整備を実施したほうが、これからの市政に役立つのではないかと思います。高齢化もあり、より近いところでのサービスを考えている人が多いと思います。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・新築、一部増築等、双方ともメリット、デメリットについて比較した説明資料なし。 ・現在使用している諸施設について、今後の利用予定あるいは処分予定が不明。 ・今後の年間経費等の比較が不明。 ・本庁は市内の低地にあり、災害等(津波・水害)の被災をしやすいので、場所が良くない。
<p>市職員がサービス悪い。</p>
<p>新しい庁舎も悪くはないけど、もう少し市政全体のことや、職員の質を上げてください。 有給を取ってアルバイトしてる職員もいます。これもいかがかと思えます。民間でしたらすぐクビです。 与党と野党の足の引っ張り合いで、日本が良くなるわけがない。 あら探しするヒマがあれば、共存策もあるはず。何故に分からないか、不思議なもので・・・。 毎度のあら探しで、何の期待も出来ず、足引っ張り合う前にすることあるだろ！ だから税金ドロボウって言われんの！ 震災で鳥取に来た人たち、手厚くフォロー出来てないじゃん。 口ではキレイなことは何でも言える。でも、実行出来てない！ 鳥取に大阪市長の橋下さんも東京の石原さんもいないけど、あんな人たちがいたらと思うわな。 保身の人はもういらなくて。中にはすごい公務員もいる。ありがたい。でも、95%は上から目線の役人が多いよ。これじゃ良くならないよ。田舎の鳥取がこれなら、他の地域はもっとヒドイんだろうね。 人が居ての町や市だもん。トップダウンは良くない！ 誰かが変えてかなきゃ。でも鳥取には居ない・・・現実を見てよ、鳥取市！！</p>
<p>議会が住民から負託されていることを忘れて、自ら否定したように見える。反対派の議員は、これから何事も、自分たちの意見を通そうとすれば住民投票すれば良い、というような流れになりはしないか。 庁舎の場所なんて、市全体からすれば大きな問題ではなかった。 たった1km動かすのに、住民投票まで行うまちなのかと思われるぐらいのこと。</p>
<p>住民全員で考えることであり、また、借金の増加は極力少なくすることをすべし。 庁舎は一極集中すべきでなく、分けて管理することだと思います。 今のままで良く、各総合支所へ決定権を持たせるべきである。</p>
<p>市民が政治へ参加するには「選挙」という方法があるが、「公務」に関わることは今までされてこなかった。今回、「公務」に対して市民の審判が下った、画期的な事象であると高く評価できると思う。 このことを念頭に置いて、「公務員制度改革」が市民の納得の範囲まで進められることを希望します。 また、この調査が単に調査に終わることなく、国政に生かされることも重ねて希望します。</p>

<p>①住民投票するにあたり、公開で議論をする場が欲しかった。自分のほうに都合の良いことを言い、相手のいないところで批判するだけでは、本当のことは見えてこないと思いました。</p> <p>②新築移転派の人達の話の中で、金をかけて公共事業をやるので、経済が活性化すると 言っていました。移転賛成の人の金ではないし、貯金を使うのではない。 税金という人の金を使うという意識はあるのか。市長は自分の金を活性化すると 言って使えますか。すごく無責任に感じました。(賛成派議員を含めて)</p>
<p>国、県、市、それぞれ(選挙に)出る時には、地域とのパイプ役として出させてくれと言うが、 国、県、市等が今後こういうことを考えていて、こういう方向に向かうようである、 などの話は一度も聞いたことがない。 それぞれのパイプ役の人のパイプは詰まっています、我々農家の人間には無用の銭食い虫と思える。 今の農業、国家を支えているのは80歳前後の老人等であり、 我々が明日からも農業をやめたとやれんような政策を取ってほしいと思う。</p>
<p>住民投票をやることになって、やっと、どちらに投票するのか関心を持った次第でした。 もっと早めに情報を得て、自分で考えることが大事でした。</p>
<p>一部地域のことだけを考えた市会議員の動きによって、将来の鳥取市全体の発展が損なわれたと思う。 市も、もっと移転後の跡地利用などのPRを積極的にする必要があった。 庁舎整備のことより、市長への政治批判の方向に行ってしまう、冷静な判断ができない人が あったのではないだろうか？ 市会議員の質が問われる。(選んだ選挙人＝市民の質にもつながる)</p>
<p>今回の市庁舎整備についての住民投票は、市議会議員選挙をはじめ、 議員選挙にあまり関心がない私でも足を運ぼうと思いました。 実際、都合が悪く投票することができませんでしたが、市民としては大変興味のある選挙でしたし、 民意が反映される選挙でしたので、行くべきであると考えたからです。 住民投票は意義のあることだと思いますし、実施することは良いことだと考えます。</p>
<p>竹内市長が駅南庁舎へ一部移転した背景、および特定の人物との癒着、急に飛び出した 新築移転の業者との利権、数えたらきりが無いが、庁舎新築など建設会社のために金を使わず、 各総合支所など中心地から離れた地域にもっと目を向けてほしい。 現庁舎は縮小して、職員を他の地域へ分散すべきである。鳥取市庁舎と比べ、 我が佐治町の支所は受付に誰もいないことが多いです。</p>
<p>住民の意見を聞くことは大切だとは思いますが、住民投票をするための費用がかかることを考えると、 必要なかと疑問に思います。その分、別の事業に使うべきではないのか・・・。 駅前での街頭スピーチのため、通勤ラッシュがもっとひどくなりました。 投票に行かなかったのも、少しその影響があるのかも・・・。</p>
<p>市会議員の方から市政の話題がない。旧市立病院跡地と現本庁舎の耐震等の話を、 もっと大局的にするぐらいの気持ちがないといけ無い。</p>
<p>・市議会議員は選挙で選ばれて出ている人です。できることであれば、市議会の中で解決してほしい。 ・選挙時の投票率が50%前後であれば、市民全体の考えと判断するのはどうかと思う。</p>
<p>税金で色々な情報を広告するのはどうかと思った。 住民投票が終わり、結果が出た次の日、議員さんがお礼を駅前ですてたのすごいいと思った。 (朝早くから)</p>
<p>私は新しい市庁舎に是非してほしいと思っています。 事が全てスムーズに行われるためには、今の古いままではダメです。</p>
<p>今回の住民投票は結果も意外でした。自分たちが選んだ市長、市議会の方の考えも、 もっと汲むべきだと思った。 5月20日の投票日の数日前の、毎日新聞の鳥取版で、新築派と修繕派の代表の方の記事を読んで、 投票を新築派に決めました。 全国でもめったにない住民投票で、また反対派の方も文面のことで 庁舎に文句を言い押し掛けたり、驚いている。</p>
<p>住民に対する信頼を得るため、広報を大いに充実する必要があるし、月1回の市報の配布を 月2回程度にして、住民の信頼を得るように努力すべし。</p>
<p>お困りの方へ愛の手を。</p>
<p>結果を見て、果たしてこれで良かったのかという思いと、自分自身もっと真剣に考えれば良かった という気持ち、もっと情報公開してもらえば良かったという思い、いろいろありますが、 どちらが良いかということは、年月が経ってみないと分からないと思います。 全市民にとって良いということはないと思います。</p>

<p>気高町に嫁いで住民になること、50年余りたちました。 田舎は田舎の良さがあり、住民と行政のつながりは強いものがありました。鳥取市と合併して、町の役場の機能が市役所に移り、町は過疎地になりました。 特に夫が死去した際、鳥取市役所に何回通ったことでしょうか。老人にとっては大変な仕事でした。大変な負担でした。本庁舎に行くことなく、駅南庁舎に通いました。 老人が多い現在、行政はもっとわかりやすい説明を、さらに地元の旧町役場で多くの手続きが出来たらと考えます。</p>
<p>今回、このようなアンケートに回答させていただいて、改めて自分自身が、住民投票するのにどういう意識で投票したのか考えさせられました。 普段あまり考えていなかった市政のことも、少し考えるいい機会になりました。 自分の投票が結果に出るといのは、すごく良いことだと思います。</p>
<p>今回、この調査票が来て返信しようかどうか、迷いました。 初めての体験と、最近の悪質な問題等で・・・夫に相談し、返信することにしました。 これは選挙と同じく大事とのこと。少しでもお役に立てればと思います。</p>
<p>今回の鳥取市における住民投票が県外からも注目を受けていることはTVの報道で知っていましたが、改めてそれを感じ直しました。 今回の住民投票の結果、また、それに至るまでの問題点を自ら考え直す良い機会になりました。 調査報告を楽しみにしています。</p>
<p>地方の借金は県の借金。県の借金、国の借金は国民の借金。 ギリシャやスペインにならぬよう、もっと一家庭の生計にならって、切り詰めるべきである。</p>
<p>個人の意識レベルを上げること。 市長も議員も、市のことを考えているというより、自分の所得に関わりがあるゆえ、としか考えていない。 名古屋市や大阪市のように、見える市政をやるべきと考えます。 口先だけの行政対応や、選挙のみの対応しかないように見えます。</p>
<p>責任のない住民投票には反対。 国、地方に限らず、議員の方々にはまず、自分の出身地のことではなく、国全体のことを考えていただきたく思います。 自分の票を取るために、出身地のためばかりに政策を掲げる人には投票したくありません。 日本の国民全体がどうすれば、平和に安心して暮らすことができるか、そのことを考えていただきたく思います。</p>
<p>今回の住民投票に関しては、選択肢が2つで、両方とも多少にかかわらず、どちらを選んだとしても鳥取市が負債を負うことには変わりはないために、投票に行かなかった。今のままで、例えば、地震等の自然災害が起きた場合にどうなるのかも、選択の1つとして入れてほしかった。 公共の建造物に対してはいろいろと補強策が講じられるが、個人的なものに対しては、「自助努力」に委ねられているのはおかしいと思う。 確かに、公共施設が被害を受ければ種々の機能がマヒして、被害がより大きくなると思うが、私たちの税金を使っているのだから、もっとより良い考え方を提示できるだけの人材育成と、それ相応の努力が出来る人間となってくれる人々を確保してほしい。</p>
<p>・新築移転反対派の、新築や特例債についての誤った情報は、共産党の広報カー等で盛んに流布されていたが、これが訂正されることなく、投票日に至ったのは恐ろしいことだと思った。 市長が新築移転の説明のため街頭に立つと、反対派に録音されたり、写真を撮られたりして、「公平でない」と批難される。結局は、互いにネガティブキャンペーンに終始してしまった。 ・本来、行政が決定すべき事項であり、議会(委員会)を経て出た結論でもある。 これを白紙に戻し、改めて5000万円もの経費をかけて結論を出す必要があったのか。 名古屋市の例を見るまでもなく、直近の負担を強いるような耳触りのよくない選択肢を市民が選ぶとは思えない。今回も含めて、今後の住民投票において、住民にとって耳触りの良い、しかし実際は、実現不可能な無茶な選択肢が選ばれた時、これを真摯に実施する責任を行政が負うのは酷な話である。某政権党のマニフェストのように、撤回が可能であれば良いが、住民が出した重い結論は容易に覆せない。市は今後、板挟みに苦しんでいくと思う。 今回、市議会の存在意義に大きく疑問符が付いた。</p>
<p>結果的に反対派の勝利にて終わってしまったのであるが、本来の、投票結果での心地よさという感はなく、胸の内は市民ことごとく割り切れる状況にないのが現状である。 失った獲物は幅広く大きく、先々の後世の市民は物理的にも、防災面の危機管理的にも、また経済的(経費増)にも難が大きいと考えられます。 特に、市議会の初期対応の欠如が悔しい限りだろう。</p>

<p>鳥取市も財源がないので、皆で良い考えを出してほしい。 将来、子供や孫たちが家を守ってほしいと同時に、安心して老後が過ごせる時代が欲しいと思う。 昔と違って親子の関係も離れていくので、このアンケートの結果が前向きで良い結果になるよう望みます。 若い者が活躍できるよう、便利な所へ建物を造り、住民が本当に便利であることに喜びを感じてほしい。 鳥取をもっと大切に思ってください。</p>
<p>改修で建物の寿命は長くなるのですが、コンクリート自体にも寿命があると聞いたことがあり、 気になります。 庁舎建て替え問題が、公務員に対する反感にすり替わっているような井戸端会議を何度か見ました。 (リストラ、工場移転などで生活苦の人が多いようです。) 10年くらいたってから、住民の判断が変わったかどうか調べてほしいです。</p>
<p>平成16年、青谷町は鳥取市へと合併した。 「鳥取市」になって、「ああ、これが良かったなあ」という実感を持つことは一度もなかった。 住所を記載する時だけ、いかにも“市”在住のようだが、「実」を伴わない合併にやるせなさ募る。</p>
<p>以前勤めていた学校の耐震工事が、(東日本大震災の影響で)大きく縮小されました。 そんな学校や建物は他にもあると思います。震災で、これだけ節約を求められている中、 市庁舎移転、新築は世の流れに反していると思います。すべきことは、他にありません。 実績を残し、その後を考えれば良いと思います。</p>
<p>青谷町の猫を大切にしてほしいです。寒い地域の野良猫の8割は死んでしまいます。 生きている2割の猫を大切にしてほしいです。そういう保護を鳥取県や人々にお願いします。</p>
<p>1. 我が国は間接民主制(代表民主制)を採用している。 議会が決すべきことを住民投票の結果に依存することは、議会の責任放棄である。 2. 住民投票という戦術は、少数意見者が本来の論争、決議の場(議会)では勝ち目が無いことから、 住民に論争、決議の場を移して争うことである。 したがって、今回住民投票という新たな土俵に上がった時点で、勝負はついてた。 3. 今後一層、大衆迎合、衆愚政治が蔓延することを憂う。</p>
<p>今の政治に対して、全く希望が持てません。県民、国民のためにと選挙のたびに演説していますが、 全て自分のためなので、国民のために等と「うそ」は言わないでほしい。</p>
<p>今回の新築反対の意思表示は、市長に対する不信感の表れだと考えています。 最近あまり表に出さなくなりましたが、新築移転の話が出た時、駅前バスターミナルという、 ありえない案を提示しました。(狭い場所なので絶対ムリ) その時点でも、政策等に疎い私でも、市長はいったい誰のほうを向いているのか、 ある一定の人達のために動こうとしているのか!と、不信感が今まで以上に深まりました。 そして、このバスターミナル案は絶対反対でした。そのあと、新築移転(病院跡地)か改修かとなった時、 将来のことを考えると、竹内市長への不信感は変わらないけれど、 新築のほうにしなければいけないと考えるようになった次第です。</p>
<p>市議会がきちんと正しく機能していれば実施しなくても良かった住民投票に税金が使われたのは、 果たして正しいことなのか? 疑問に感じます。</p>
<p>住民投票を行ってよかったのかどうか?と、少し考えさせられます。しないといけなかったのでしょうか? あまり関心を持っていなかったのも、他人事ではないのですが。</p>
<p>「市民の会」の取り組みが、市民の大きな目覚めとなったと思う。 様々な市民団体、住民運動グループ、議員、組織としての参加ではなく、個人(一市民)としての 参加による市民運動として位置づけたこと、趣旨に賛同すれば誰でも参加できる運動としたことが、 大きな意味を持ったと思う。一人一人の意識改革、目覚めの始まりである。 生命あるものは全て、人間も含めて地球・人類が心ひとつに協力し分かち合う生活が、自然な姿である。 競争や市場主義は、戦争、紛争、分裂、貧困、格差社会・・・を作ってく。 一人一人が自分で責任をとる行動、生活、生き方に目覚めることである。 現代は政治、経済界全て、責任を取らぬ生き方である。 21世紀は人類の新しい生き方、精神文明への進化創造の途中である。物質文明の終わりである。</p>
<p>バラバラの庁舎は不便ですが、大きな物を建てることは住民の負担になると思う。 今の生活もギリギリなのに・・・税金は取りすぎ。安くならないものか。 給料で引かれ、買い物で引かれ、住民税(住んでだけで自分の土地なのに引かれ)、 貯金すれば利子が付くどころか税金引かれ、子供に自分のお金をやるのにも税金引かれ、 自動車に乗れば自動車税、ガソリン税、酒を飲めば、たばこを吸えば・・・税金ばかり。 〇〇党といっぱいあるが、自分の党のことばかりで、みんなで協力して住みよい国が作れないものか。 政治家の給料を少なくして、国の借金を穴埋めすべき。責任を取るのには政治家だと思ふ。</p>

謝辞

今回の調査実施にあたっては、多くの方々からのご助力をいただいた。「中央大学」のロゴ入り封筒の使用に際してご協力くださった中央大学広報室をはじめ、調査実施にあたって様々なご協力・ご助言をいただいた多くの方に、心より感謝の意を申し上げます。